MITSUBISHI

三菱ワイド液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT234WX-Z (BK)

(AX203)

取扱説明書

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」と「ユーティリティーディスク(CD)」は、「保証書」と共に大切に保存してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P7, P57参照
- この取扱説明文書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。(画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。)

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

何ができるの？

高品位液晶パネル

IPS 方式液晶パネル搭載 → P60

視野角による輝度変化、色変化が少ない高品位な画像を映しだす IPS 方式液晶パネルを搭載しました。

動画、なめらか、クッキリ

倍速クリアピクチャー → P31

60 コマ／秒で映し出される映像の間に、動きを予測した新たな映像を補間し、120 コマ／秒の映像を映し出す倍速補間技術により、なめらかで自然な動きを再現します。

超解像（画像変換）技術 → P31, P39

超解像技術「ギガクリア・エンジンⅡ」を搭載しました。超解像設定により、静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換することに加え、圧縮された画像に見えるブロックノイズを低減するブロックノイズリダクション機能、明るい部分と暗い部分が混在する画像でもコントラスト感を改善するエリアコントラスト機能、肌色部分を検出し、検出部分の超解像効果を抑えることで人肌をなめらかに表現する肌色検出機能を装備しています。更に、入力される映像の解像度を判別し、これらの 4 つの機能の効果を解像度に応じて適用する解像度判別機能も搭載しています。

ギガクリア・ウインドウ

付属の専用ソフトを使用することで、コンピューター画面上の任意の場所を選択し、その場所のみに超解像技術や高画質技術を適用することが可能です。

24 コマ／ 30 コマコンテンツもなめらか表示

シネマモード → P31

フィルム映像（24 コマ）や 30 コマのコンテンツに適した表示モードをお好みにより選択できます。「フィルム」を選択した場合、フィルム映像の動きを忠実に再現します。「なめらか」を選択した場合、フィルム映像の動きをなめらかに表示します。

コンピューターの画面で作業しながらビデオ画面やスマートフォン画面などを視聴したい

2 画面表示機能 → P38

親画面の中に子画面を表示する PinP 機能と、親画面と子画面を左右に並べて表示する PoutP 機能の 2 種類の 2 画面表示機能を搭載しています。PinP 機能により、コンピューター画面の中にビデオ画面を表示したり、ビデオ画面の中にコンピューター画面を表示したりすることができます。また、PoutP 機能により、コンピューター画面とビデオ画面を左右に並べて表示することもできます。DVI-D 入力と HDMI 入力の組み合わせも可能です。（HDMI1 入力と HDMI2 入力の組み合わせ、および、D-SUB 入力と D 端子入力の組み合わせでは 2 画面表示機能は使用できません。）子画面のみに超解像技術を適用させることも可能です。

画面スタイル機能 → P41

スマートフォンなどのモバイル機器を子画面に縦画面で表示する場合に、不要な黒帯部分を表示しないよう表示画面のスタイルを切り換えます。表示画面サイズを微調整することもできます（スタイル4）。

表示するコンテンツに適した画質を簡単に設定

DV MODE (Dynamic Visual MODE) → P30

ゲーム、ネット、映画、写真、モバイルコンテンツなど、表示する内容に合わせた適切な画質を 12 のモードからお選びいただけます。リモコン操作で、使わないモードをスキップすることができます。更に、動画（自動）を選択した場合、入力される動画コンテンツの映像に合わせた適切な画質に自動的に切り換えます。

フレーム遅延時間を確認したい

フレーム遅延時間表示機能 → P13

フレーム遅延時間をミニ OSD で表示します。
例：スルーモードが“入”の場合、ミニ OSD で
　内部表示遅延：0.9 フレーム
　と表示します。（※インターレース信号入力時は除く）

※ フレーム遅延時間：当社基準に基づく測定結果により表示します。表示された映像をセンサーで検知し、入力される映像信号との時間の差により遅延時間を算出しています。

リモコンによる簡単操作

リモコン付属 → P13, P14

付属のリモコンでスイッチ操作が容易になりました。

多彩な入力端子を装備

< PC 接続 > → P12, P18

ミニ D-SUB15 ピン入力端子（アナログ接続）、DVI-D 入力端子（デジタル接続）、HDMI 入力端子（デジタル接続）、および 1 系統のミニジャック（音声接続）を装備しています。

< AV 機器接続 >

HDMI 入力端子 x 2 装備 → P12, P20

2 台の AV 機器を市販の HDMI ケーブルで接続することができます。

映像入力端子（D 端子）を装備 → P12, P21

AV 機器の D 端子出力を市販の D 端子ケーブルで接続すると、AV タイミング（D1 ～ D5）の映像信号を表示することができます。

携帯用ゲーム機を画面フル表示で楽しみたい

ポータブル機能 → P35

アスペクト比設定を「ポータブル」とすることで、携帯用ゲーム機の映像を画面フルで表示することができます。

精緻な階調表現力を生かした 、高精度なガンマ補正

10 ビットガンマ機能 → P58

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

省エネで節約

ECO Professional (ECO PROF.) 機能 → P26, P42

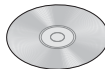
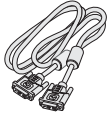
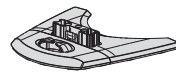
ECO 設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECO メーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

パワーマネージメント機能 → P47, P59

待機電力は、スリープモード時 1 W 以下、オフモード時 1 W 以下です。

簡単カラーマネージメント

EASYCOLOR!3 機能 → 付属の専用取扱説明書を参照

付属のユーティリティーディスク（CD）の EASYCOLOR!3 ソフトを使って、画面表示色と付属の「ディスプレイ色調整用チャート」の写真の色イメージとを簡単に合わせることができます。
EASYCOLOR!3 のソフトインストール方法は付属の「簡単カラーマネージメントのおすすめ」をご覧ください。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

- □セットアップガイド

- □EASYCOLOR!3 取扱説明書

- □色調整用チャート

- □ユーティリティーディスク

(取扱説明書、EASYCOLOR!3ソフト、ギガクリア・ウインドウソフト)

- □リモコン／単4形乾電池2本

- □電源コード AC100 V用

本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。

- 信号ケーブル
  - □DVI-D－DVI-D (デジタル接続用)
  - □ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB15ピン (アナログ接続用)

- □オーディオケーブル

- □ブロックネック (高さ調節用3個)

- □ベーススタンド

- □保証書（梱包箱に貼り付けてあります。）

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い：取扱い上、特に守っていただきたい内容
お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容
→ PXX：参考にしていただきたいページ
Win Mac：Windows® と Macintosh 両方に関わる内容
Win：Windows® のみに関わる内容
Mac：Macintosh のみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」→ P3
言葉と意味で探す→「用語解説」→ P58
もくじで探す→「もくじ」→ 表紙，P2
さくいんで探す→「さくいん」→ P61

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

本製品は PC3R「PC グリーンラベル制度」の審査基準（★★☆ Ver.12）を満たしています。
詳細は、Web サイト：http://www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Moss グリーンマーク・ガイドライン」に基づく J-Moss グリーンマークを表示しています。
「J-Moss（JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：RDT234WX-Z(BK)

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

安全のために必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容です。
警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
注意	傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなくてはならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠警告

異常・故障について

異常・故障時は使用を中止してください。

プラグを抜く

◆ **異常があったときは電源プラグを抜いてください**

◎煙が出たり、異常な臭いや音がする
◎映像や音声が出ないことがある
◎内部に水などの液体や異物が入った
◎本機に変形や破損した部分がある
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
●お客さまによる修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置の電源コンセントをご利用ください。

電源コード・電源プラグについて

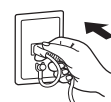
◆ **破損するようなことはしないでください**

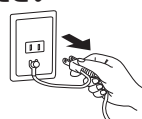
◎傷付ける　◎ねじる
◎加工する　◎引っ張る
◎熱器具に近づける　◎重いものを載せる
◎無理に曲げる　◎束ねる
火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

◆ **傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは使用しないでください**

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全だと火災・感電の原因になります。

◆ **電源プラグを持って抜いてください**

コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になります。

◆ **電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください**

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

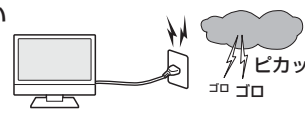
濡れ手禁止

◆ **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください**

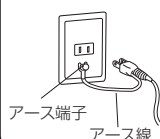
感電の原因になります。

接触禁止

◆ **雷が鳴り出したら、本機および電源プラグには触れないでください**

感電の原因になります。

アース線を接続する

◆ **アース線を接続してください**

故障のときに感電の原因になります。
●電源プラグを接続する前にアース線を電源コンセントのアース端子へ接続してください。
●アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
●アース端子付き電源コンセントがない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◆ **アース線を電源コンセントに挿入・接触させないでください**

感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

◆ **長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください**

電源プラグにほこりがたまり、感電・火災の原因になります。

⚠警告

接続ケーブルについて

◆ **接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください**

火災・感電の原因になります。

◆ **接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理してください**

火災・感電・けがの原因になります。

水濡れについて

水濡れ禁止

◆ **上に花びんやコップなどを置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

風呂・シャワー室などでの使用禁止

◆ **風呂場や水のかかる所に置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

電源について

◆ **電源はAC100-120VまたはAC220-240Vを使ってください**

火災・感電の原因になります。

●AC100V電源では付属の電源コードを使用してください。
●AC100V以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。

異物について

◆ **内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください**

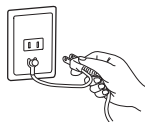
火災・感電・故障の原因になります。

●特にお子さまにご注意ください。

液晶について

◆ **液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れたりしないでください**

中毒を起こす原因になることがあります。

●万一、目や口に入ってしまった場合は、水でゆすいだ後、すぐに医師の診察を受けてください。
●手や衣類に付着した場合は、アルコール等で拭き取り、水洗いをしてください。

電源について

◆ **電源コンセントや電源コードの定格を超えて使わないでください**
◆ **たこ足配線をしないでください**

電源コンセントの電流容量を超えると、火災の原因になります。

誤飲防止について

◆ **小さい付属品は、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師の診察を受けてください。

設置について

◆ **不安定な場所に置かないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがや故障による火災の原因になります。

分解禁止について

分解禁止

◆ **裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください**

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

高圧注意

●内部の点検・調整・修理は修理相談窓口にご依頼ください。

電池について（マンガン電池）

◆ **電池の液を目に入れないようにしてください**

電池の液が目に入ったときは、すぐに水道水などの大量の水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

◆ **電池の液をなめないでください**

液をなめたときは、医師の診察を受けてください。

● 特にお子さまにご注意ください。

◆ **電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください**

万一、電池を飲み込んだときはすぐに、医師の診察を受けてください。

◆ **電極（プラス⊕とマイナス⊖）をショートさせないでください**

過大電流が流れて漏液・発熱・破裂させる原因になります。

◆ **電池を分解したり、火の中に入れたりしないでください**

加熱され漏液・発熱・破裂させる原因になります。

◆ **極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください**
◆ **新しい電池と古い電池を混ぜたり、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください**

漏液・発熱・破裂させる原因になります。

⚠注意

本機の取り扱いについて

◆ 強い力や衝撃を加えないでください

LCDパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

◆ 上にものを置かないでください

落下して、けがの原因になることがあります。

◆ 直射日光や熱器具のそばに置かないでください

故障の原因になることがあります。

◆ 液晶パネル面を強く押さないでください

・傷が付いたり、破損してけがの原因になることがあります。

・画質劣化や故障の原因になることがあります。

手を挟まれないように注意

◆ 本機のスタンド取り付けおよび画面位置や角度の調節時に手を挟まないでください

◆ 本機のスタンドは本機以外では使用しないでください

けがの原因になります。

◆ ポリ袋で遊ばないでください

本体や付属品の包装用ポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ 乗らないでください

◆ ぶらさがらないでください

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ 屋外で使用しないでください

故障の原因になることがあります。

◆ 車に載せるなどの移動用途では使用しないでください

故障の原因になることがあります。

◆ 電源コードや接続ケーブルをつけたまま移動しないでください

本機や電源コードおよび接続ケーブルが破損する原因になります。

設置について

◆ 通風孔をふさがないでください

◆ 風通しの悪い狭い所で使用しないでください

◆ 上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

通風孔をふさがない

狭い所で使わない

上向きや横倒し、逆さまで使わない

◆ 本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください

ショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になることがあります。

◆ 転倒・落下防止部品を使用して固定してください

転倒・落下して、けがの原因になります。

設置台を補強する

丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

⚠注意

電池について（マンガン電池）

◆ **充電しないでください**
◆ **長期間使用しない場合はリモコンから取り出してください**
◆ **直接ハンダ付けしないでください**
◆ **変形しているなど異常な電池は使用しないでください**
◆ **電池を落下させるなど強い衝撃を与えないでください**
◆ **電池を変形させたり絶縁物を損傷させないでください**
◆ **本機のリモコンに適した正しい電池を使用してください**
品名：単4マンガン乾電池

破裂・漏液により、けがや周囲を汚損したりする原因になります。

◆ **電池の液を皮膚や衣服に付着させないでください**

付着したら、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

◆ **直射日光があたるなど高温／高湿の場所で保管・使用をしないでください**

漏液するおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

◆ **電池を水などで濡らさないでください**

発熱したり、電極部を錆びさせることがあります。

◆ **保管時や廃棄時は端子部を絶縁してください**

漏液・発熱・破裂の原因になるおそれがあります。

●保管時や廃棄時は、金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

⚠注意

お手入れのしかた

プラグを抜く

◆ お手入れの前に、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください

■ 液晶パネルのお手入れ

表面は傷付きやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
ほこりの付いた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面がはがれることがあります。

- ●表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ●油など拭き取りにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭き取ったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷付けるので使用しないでください。
- ●水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにすると液晶パネルの変質や変色の原因になります。
- ●表面にほこりが付いたときは、市販の柔らかいブラシなどでおとしてください。
- ●帯電防止剤は、液晶パネルの変質や変色の原因になるものがあります。ご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ（光沢部以外）

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやクリーナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

- ●柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- ●水滴などが液晶パネルの表面を伝ってディスプレイの内部に侵入すると故障の原因になります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ（光沢部）

キャビネット光沢表面は少しの傷でも目立ちやすくなっています。お手入れは眼鏡レンズ拭きなどの柔らかい布のようなもの以外はご使用にならないでください。
キャビネット光沢表面の変色を防ぐため、中性洗剤のご使用もご遠慮ください。

◆ 通風孔に付着したゴミはこまめに取り除いてください

ほこりが通風孔をふさいで内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ 1年に一度は内部掃除をしてください

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

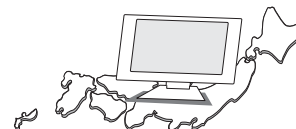
- ●内部の掃除は販売店にご依頼ください。

ご使用に関して

◆ 海外で使用しないでください

国内と海外では電源電圧が異なり、故障の原因になることがあります。

- ●本機は日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

国内専用
For use in Japan only

◆ 目が疲れないように使用してください

目が疲れる使い方を続けると、視力低下などの健康障害に至ることがあります。

- ●画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
- ●明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
- ●連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

◆ 長時間同じ画面を表示しないでください

長時間同じ画面を表示していると、表示が焼き付くこと（残像）があります。

- ●画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
- ●「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることを推奨します。

使用上のお願い

液晶ディスプレイの上手な使い方

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のない所まで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時は、水・ゴミ・ほこりや衝撃から保護するために、ご購入時の包装材（箱・袋・緩衝材）を使用されることを推奨します。

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。→P53
- 乾電池・リチウム一次電池は住んでいる所（各自治体）によって資源ゴミ、不燃ゴミ、有害・危険ゴミなどゴミの種類が異なり、そのため「ゴミを捨てる方法」も違います。
  住んでいる市町村の指示にしたがって捨ててください。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

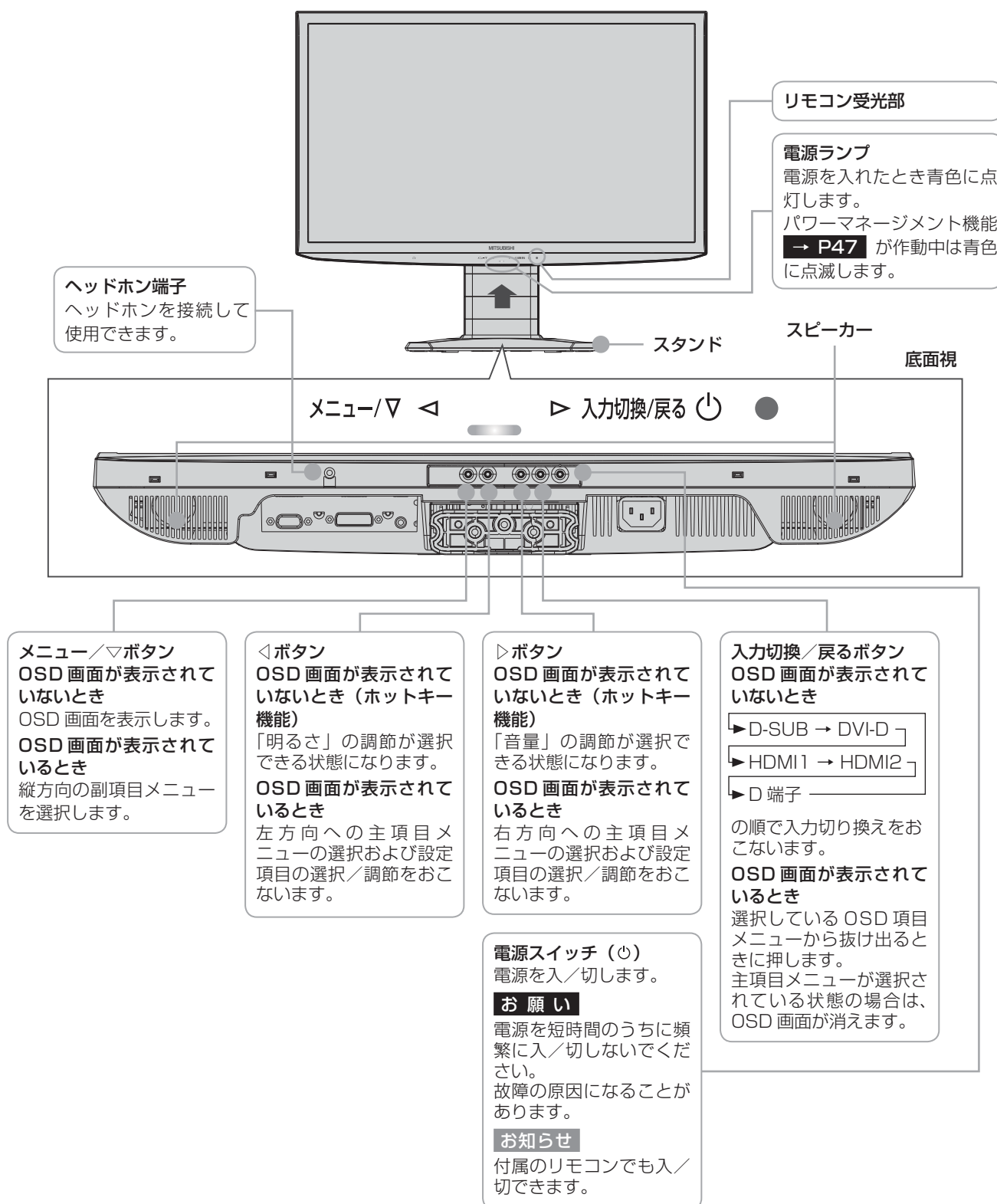
お知らせ

有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2にしたがい、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixel)」となります。
つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷付けないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面

お知らせ

● 各ボタンによる詳しい OSD の操作については「OSD の基本操作」→ P28 をご覧ください。

語句説明

● ホットキー機能：OSD メニュー画面を呼び出して選択しなくても、押すと操作ボタンに割り付けられている OSD 調節画面を直接呼び出す機能です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

本体背面／側面

VESA 規格準拠穴
（以下、VESA 穴と記載）
市販のアームスタンドを取り付けられます。（M4-100mm ピッチ） → P56

把手
持ち運びに便利です。

盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー（Kensington 社製）を取り付けられます。

電源入力コネクター
電源コードを接続します。

ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。

< PC 接続>

< AV 機器接続>

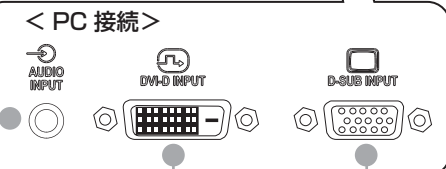
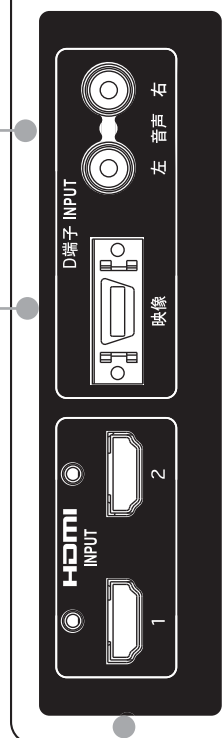
音声入力端子（ミニジャック）
付属のオーディオケーブルでコンピューターと接続します。

デジタル信号入力端子（DVI-D）
付属の DVI-D ケーブルでコンピューターと接続します。

アナログ信号入力端子（D-SUB）
付属のミニ D-SUB15 ピンケーブルでコンピューターと接続します。

D 端子音声入力端子（RCA）
コンポーネント出力端子（D 端子）のある AV 機器を RCA 端子のオーディオケーブル（市販）で接続します。

映像入力端子（D 端子）
コンポーネント出力端子（D 端子）のある AV 機器を D 端子映像ケーブル（市販）で接続します。

HDMI 入力端子（HDMI1、2）
HDMI 出力端子のある AV 機器を HDMI ケーブル（市販）で接続します。（下が HDMI1、上が HDMI2）

リモコン

電源ボタン
電源を入／切します。

明るさボタン
画面の明るさを調節します。
＋：明るくなります。
－：暗くなります。

メニュー／戻るボタン
OSD 画面を表示または消します。
OSD 機能の操作の最中には 1 つ前の画面に戻ります。

画面表示ボタン
画面右上にミニ OSD を表示します。
表示している入力、子画面入力、音声、DV MODE、スルーモード、超解像レベル、フレーム遅延時間が確認できます。

DV MODE 切換ボタン
DV MODE の静止画モード／動画モード／動画（自動）モード／モバイルモードを DV MODE スキップ設定に応じて切り換えます。
静止画：「スタンダード」「IV テキスト」「フォト」「sRGB」
動画：「テレビ」「ゲーム」「シネマ」「ネット」
動画（自動）：自動切換
モバイル：「テキスト」「フォト」「動画（高解像度）」「動画（低解像度）」 → P30
現在の状態が画面左上に表示されます。

入力切換ボタン
(D-SUB) (DVI-D) (HDMI1) (HDMI2) (D 端子)
それぞれの映像入力を直接切り換えます。

オーバースキャンボタン
オーバースキャン率を設定します。
(4 モード) → P35
100%（フル）、98%、95%、93%
PC 入力時は切り換えできません。

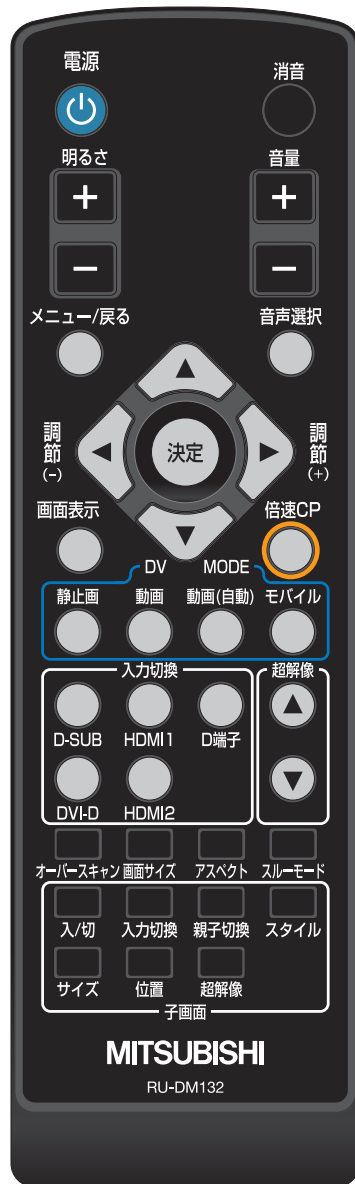
画面サイズボタン
画面サイズを切り換えます。
(4 モード) → P34
フル、アスペクト、2x ズーム、リアル

子画面　入／切ボタン
子画面（PinP または PoutP 画面）の表示を入／切します。
スルーモード機能を「入」にしているときは、子画面を表示できません。

子画面　サイズボタン
子画面のサイズを切り換えます。
(3 モード) → P38
小、中、大

子画面　入力切換ボタン（子画面表示時のみ有効です）
子画面に表示する映像を切り換えます。

子画面　位置ボタン
子画面の表示位置を切り換えます。
→ P39
右上、右下、左下、左上

子画面　親子切換ボタン（子画面表示時のみ有効です）
現在表示中の親画面と子画面を切り換えます。

消音ボタン
音を消します。
もう一度押すか、音量ボタンを押すと、音声が出るようになります。

音量ボタン
音量を調節します。
＋：音が大きくなります。
－：音が小さくなります。

音声選択ボタン
現在表示中の映像ソースに関係なく、音声入力のみを切り換えることができます。

倍速クリアピクチャーボタン（倍速 CP）
倍速クリアピクチャーを切り換えます。
切、入
DV MODE が「フォト」、「sRGB」のときは切り換えできません。

コントロールボタン（▲▼◀▶）
OSD 画面の操作をします。

決定ボタン
OSD 画面が表示されている場合
選択した項目を実行します。

超解像ボタン
親画面の超解像設定を切り換えます。
(10 段階) → P31
0（切）～ 100
▲：超解像効果が大きくなります。
▼：超解像効果が小さくなります。

アスペクトボタン
SD タイミングの入力映像に対して、画面のアスペクト比を設定します。
自動、16：9、4：3、ポータブル
PC 入力時は使用できません。

スルーモードボタン
スルーモード機能を入／切します。
→ P35

子画面　超解像ボタン（子画面表示時のみ有効です）
子画面の超解像効果を入／切します。（子画面の超解像効果のレベル調節は、OSD 画面でおこないます。→ P39）
親画面の超解像効果が設定されている場合、子画面のレベル設定値にかかわらず、親画面の超解像効果が適用されます。（子画面の超解像効果が入の場合）

子画面　スタイルボタン（子画面表示時のみ有効です）
スマートフォンなどのモバイル機器を子画面に縦画面で表示する場合に、不要な黒帯部分を表示しないよう画面スタイルを切り換えます。 → P41

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

リモコンの取り扱い

基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

3 m以内

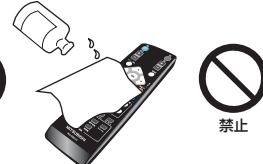
リモコンの受光部に正しく向けてください。使用範囲は角度により異なります。

⚠注意

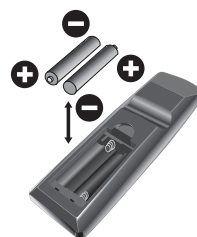
● リモコン使用上の注意
- 本機専用のリモコンです。他のディスプレイやテレビなどの操作はできません。
- リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約3mですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、温度の高い所に置かないでください。故障の原因になります。
- リモコンを直射日光のあたる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
- リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

落としたり衝撃を与えない。

水をかけたり、濡れたものの上に置かない。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

電池の入れ方

1 電池ケースの蓋（ふた）のロックを外し、矢印の方向に開ける

2 古い電池を取り出し、新しい電池をケースの⊕⊖表示に合わせて入れる

3 電池ケースの蓋（ふた）を閉じる

⚠警告

● 使用している電池は、使用形態や使用環境、保存環境などによって、漏液・発熱・破裂による火災、けがや機器故障の原因になります。
● 「安全のために必ずお守りください。」→ P6, P8 をご覧になり、取り扱いには十分に注意してください。

⚠注意

● 長期間リモコンを使用しない場合や使い切った電池はすぐにリモコンから取り出してください。
長期間放置すると電池から発生するガスによる漏液、発熱により、リモコンを損傷する恐れがあります。

お知らせ

● 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
● リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、２本とも新しい乾電池と交換してください。

使用の準備

使用するための流れ

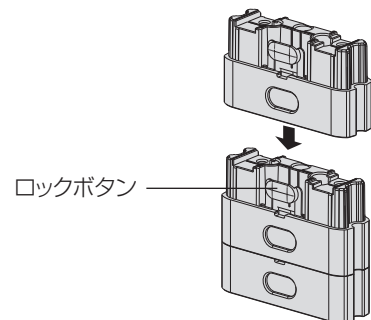
これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

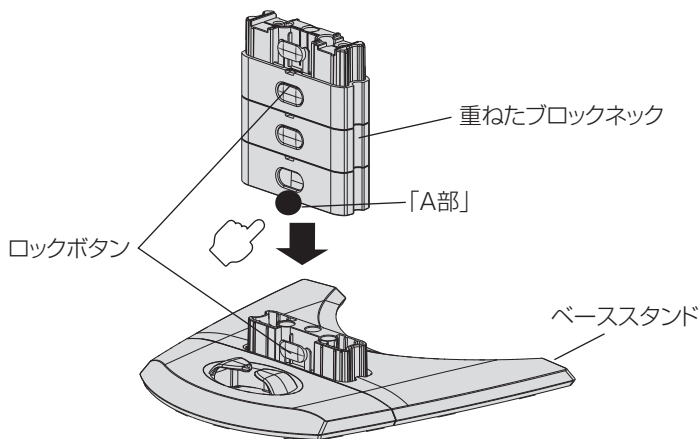
[準備 1] ディスプレイを組立てる

スタンドを組立てる

ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる

付属のブロックネックは、画面高さがお好みの位置になる数量をお使いください。
説明図は付属のブロックネック 3 個をすべて使用した状態です。

付属の 2 段ブロックネックと 1 段ブロックネックを積み重ねます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる

付属のベーススタンドに重ねたブロックネックを取り付けます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

お知らせ

● ブロックネックをベーススタンドへ差し込むときは、ベーススタンドのロックボタンを軽く押すと、挿入が容易になります。
ベーススタンドの溝に入りにくい場合は、A 部を押してください。

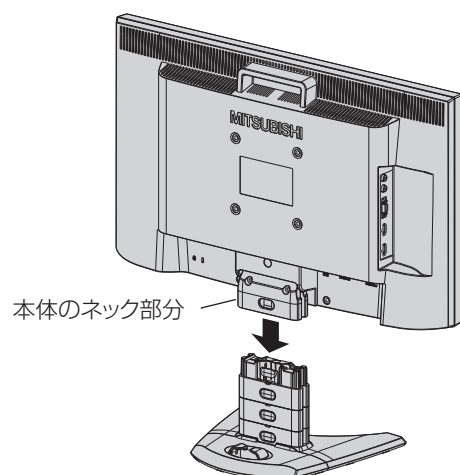
完成したスタンドを本体に取り付ける

図のように水平な机の上に、ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたベース部を置いてください。
本体に装着されているネック部分と最上段のブロックネックの凹凸部を重ね合わせて、ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

⚠注意

● ベーススタンドとブロックネックが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
取り付けた際に、ベーススタンドとブロックネックのロックボタンが正常にかみ合っていることを再確認してください。
● スタンドを組立てる際に、指をはさまないように注意してください。

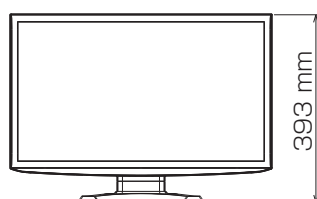
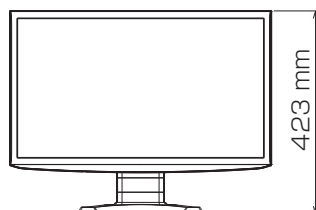
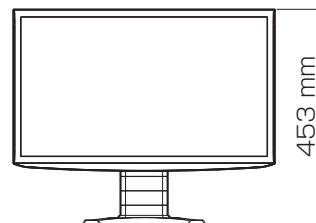
語句説明

● スタンドとは、付属のベーススタンドとブロックネックおよび本体のネック部分をすべて組立てた状態を示します。

[準備 1] ディスプレイを組立てる（つづき）

ブロックネックスタンドの特長

本機は、付属の分割式ベーススタンドとブロックネックの組み合わせ次第で、お好みに応じた様々な設置スタイルに対応します。

ブロックネック装着数を加減することで画面高さを段階的に調節できる

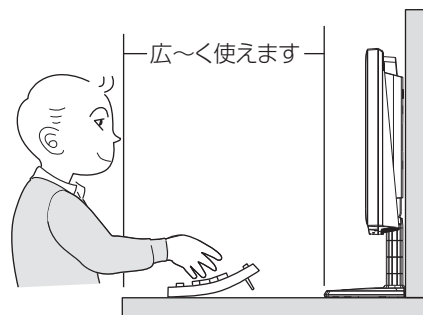
付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。

ブロックネック1個の場合

ブロックネック2個の場合

ブロックネック3個の場合（最大）

後部ベースを外すと壁寄せ設置できる

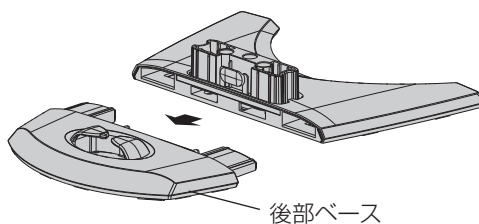
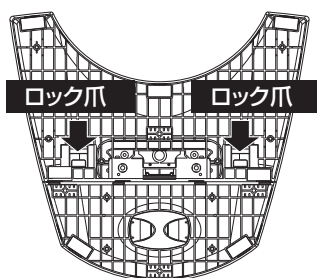
付属のベーススタンドは前後を分割できます。
標準仕様のまま使用する以外に、後部ベースを取り外すことで壁に寄せて設置することができます。
机の奥行きが狭い場合は、キーボードで狭くなった机を広く使用することができます。

壁に寄せて設置したとき

⚠注意

- **後部ベースを外した場合、本機を壁から離さないでください。**
  転倒する恐れがあります。けがや破損の原因になります。
- **壁から離して使用するときは、後部ベースを必ず取り付けてください。**
  また、地震のときなどでも安全にお使いいただくために、本体背面の VESA 穴を利用して丈夫な紐で壁とつなぐなどの対策を施して、転倒や落下しないようにしてください。

[準備 2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる [必要に応じて]

後部ベースを分離する

1 図に示すベーススタンド裏面のロック爪を押してロックを解除し、後部ベースを引っ張って取り外す

お願い

- 取り外した後部ベースは、大切に保管してください。

壁に寄せて設置する

2 転倒しないように壁に寄せて設置する

[準備 3] ディスプレイとコンピューターを接続する

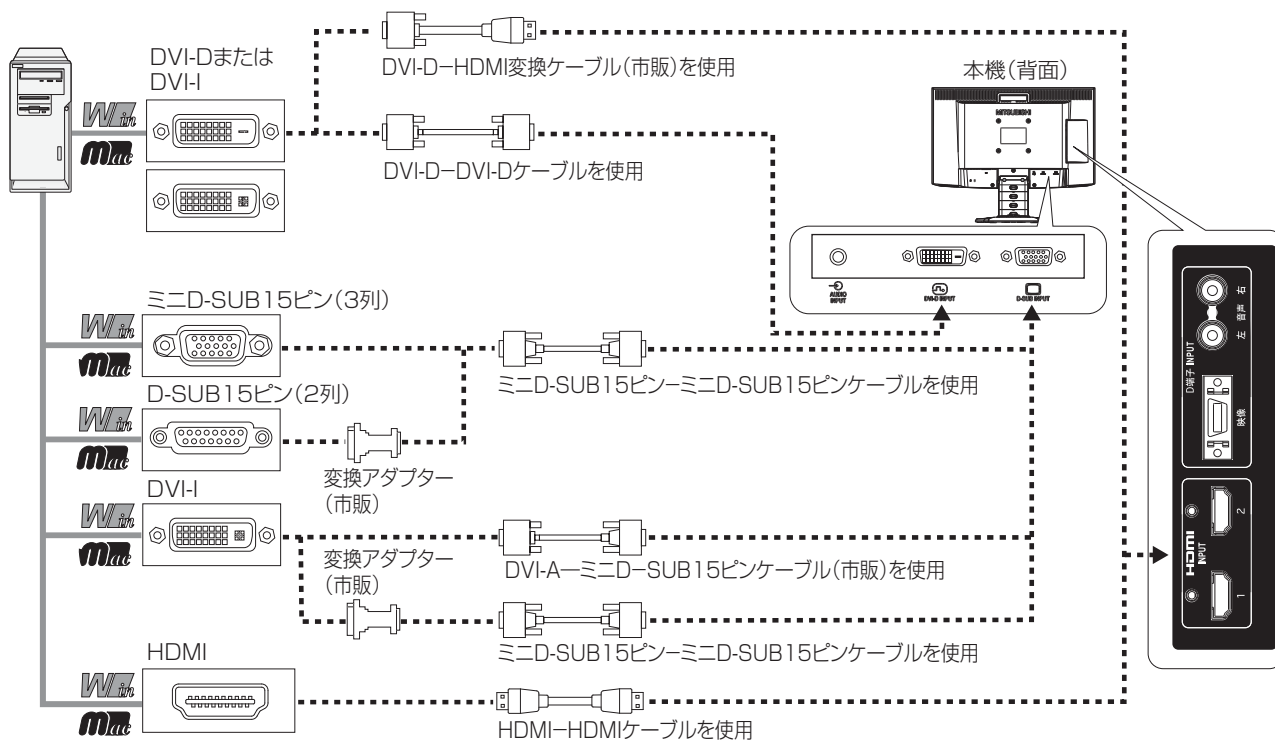
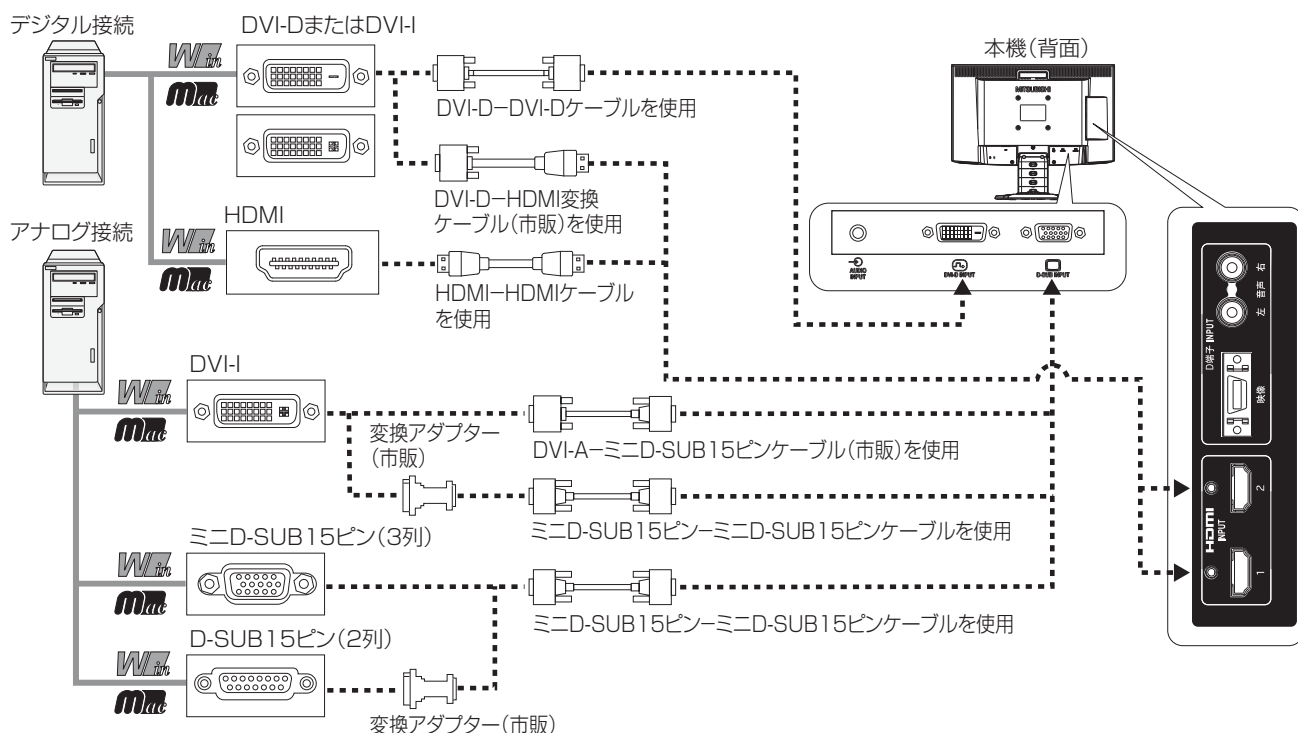
本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

お 願 い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- デジタル接続とアナログ接続を同時におこなう場合は、まず、デジタルの信号ケーブルを先に接続してください。

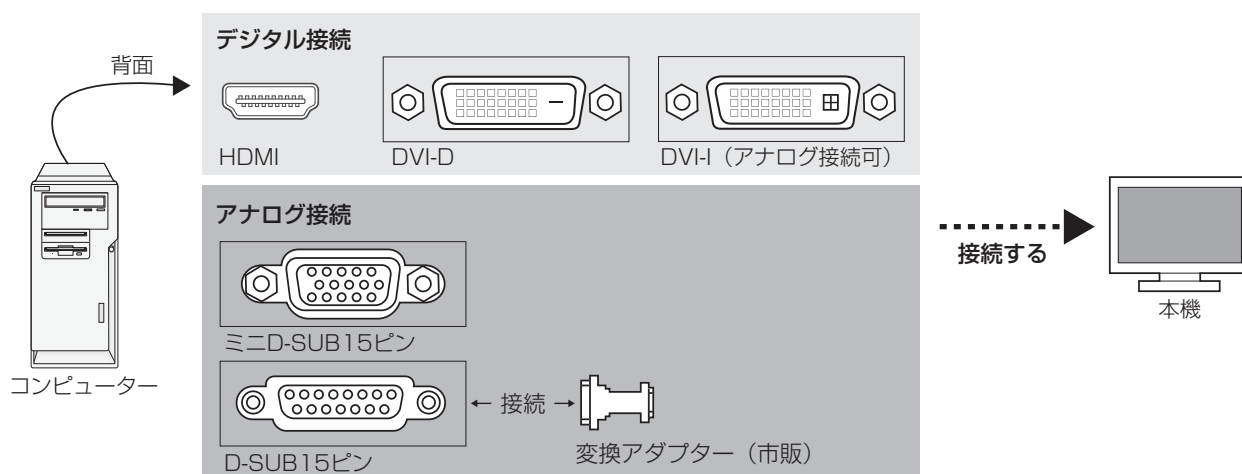
お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
  信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1 台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）

2 台のコンピューターを接続（デジタル 1 系統／アナログ 1 系統同時接続）

3 台～ 4 台のコンピューターを接続（デジタル 2 ～ 3 系統／アナログ 1 系統同時接続）

前ページの接続図において、2 台～ 3 台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機の HDMI 端子と DVI-D 端子にそれぞれ接続してください。
更にもう 1 台のコンピューターをアナログ接続することにより 3 台～ 4 台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続方法について

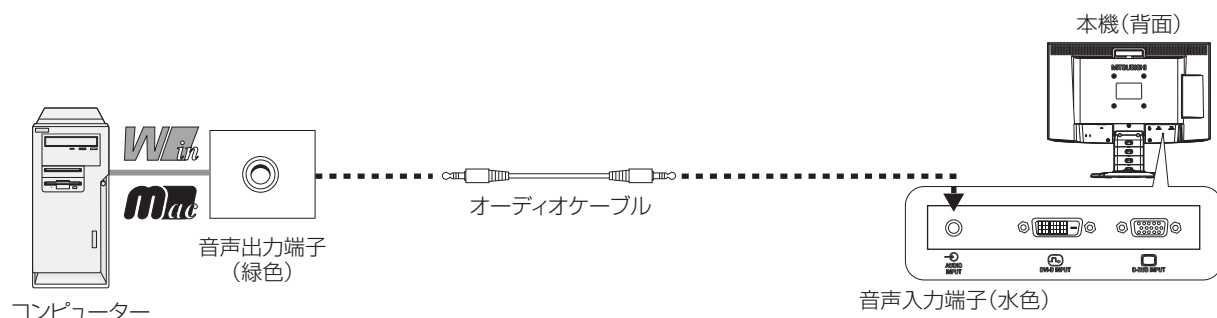
本機の信号入力端子は、アナログ信号（ミニ D-SUB15 ピン）とデジタル信号（DVI-D、HDMI）に対応しています。
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り換えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号入力端子に接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。

接続端子と信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-A–ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）または、ミニD-SUB15ピン–ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D–DVI-Dケーブルで接続	DVI-D–HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D–DVI-Dケーブルで接続	DVI-D–HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D–HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI–HDMIケーブル（市販）で接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン–ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン（アナログ接続）（2列）	ミニD-SUB15ピン–ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません	接続できません

DVI-I ：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D ：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A ：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
※ HDMIケーブルは、HIGH SPEED HDMI® CABLEの表示があるものをご使用ください。
　1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合があります。

[準備 3] ディスプレイとコンピューターを接続する（つづき）

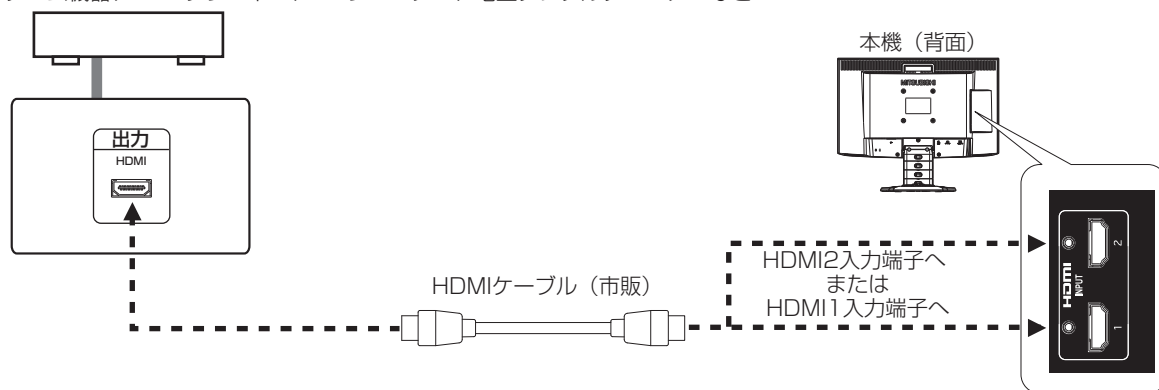
コンピューターの音声出力端子と接続

お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗なしのものを使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備 4] ディスプレイと AV 機器を接続する ［必要に応じて］

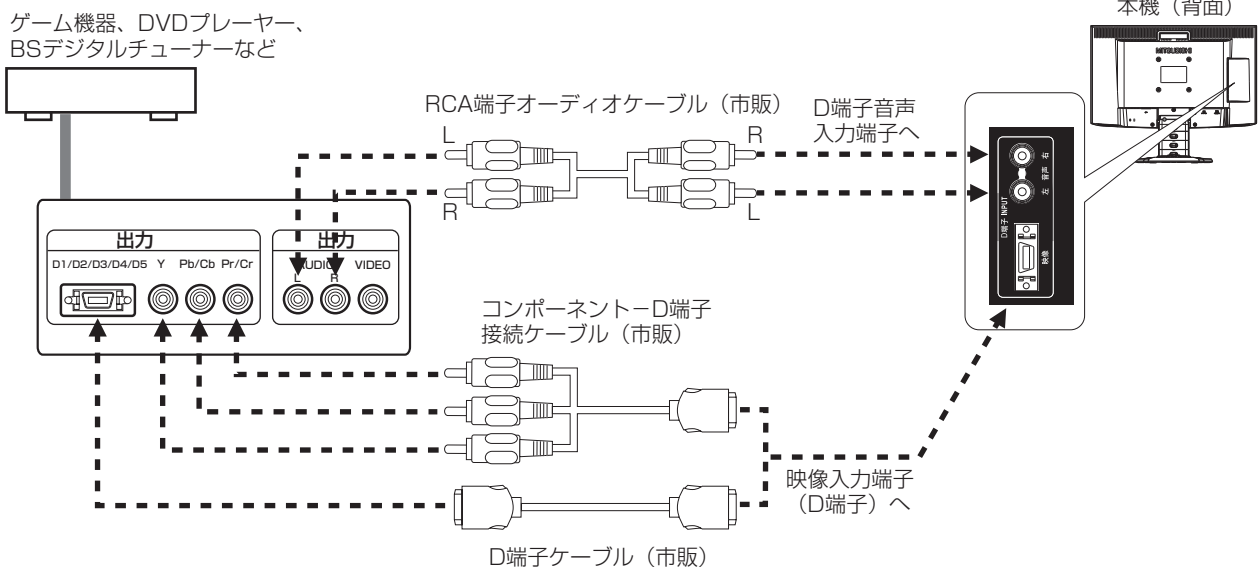
HDD/DVD や各種ゲーム機器などの AV 機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV 機器などと接続して使用することができます。
詳しくは、AV 機器などの取扱説明書を参照ください。

HDMI 出力に対応した AV 機器と接続

お知らせ

- HDMI － HDMI ケーブル接続で 2 台の AV 機器との接続ができます。
  すべての HDMI 機器への接続を保証するものではありません。
- 一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  - ・ PC 入力自動切換機能を「切」にすると、表示されやすくなる場合があります。
  - ・ 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。
  - ・ AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- D 端子入力で AV 機器と接続される場合、音声信号は AV 機器の音声出力端子と本機の D 端子音声入力端子を接続してください。
- HDMI ケーブルは、HIGH SPEED HDMI® CABLE の表示があるものをご使用ください。1080p 映像信号を入力する場合は、一般の HDMI ケーブルでは正常に動作しない場合があります。

[準備 4] ディスプレイと AV 機器を接続する [必要に応じて] (つづき)

コンポーネント映像出力（D 端子）に対応した AV 機器と接続

注）HDMI入力の場合、オーディオケーブルの接続は不要です。（HDMI信号に音声信号が含まれています。）

お知らせ

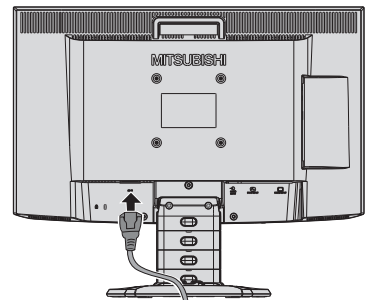
● ゲーム機やビデオムービーなど一部の機器では、音声が専用出力端子またはステレオジャック出力の場合もあります。専用ケーブルが必要な場合は、接続機器の取扱説明書を参照のうえ、専用ケーブルを購入してください。

[準備 5] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

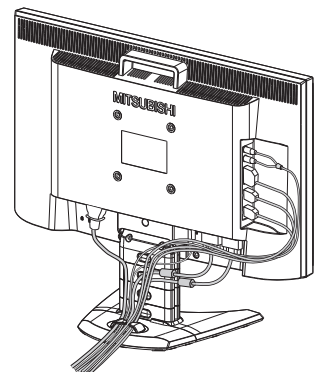
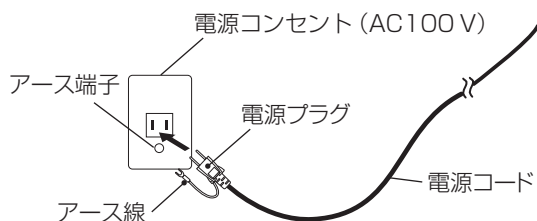
奥までしっかりと差し込んでください。

お 願 い

● コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.5 A 以上必要です。）
● 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

[準備 6] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お 願 い

● 画面を上方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。設置後、画面を上向きまたは下向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
● 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。

[準備 7] 電源プラグのアース線を接続する
[準備 8] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する

お 願 い

● 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠ 警告

● 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
● 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。
AC100 V 以外（最大 AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
● 電源プラグのアース線は必ず電源コンセントのアース端子などへ接続してください。
なお、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。
● 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。

アース端子付きコンセントがない場合

● ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線に接続しないでください。
感電・爆発・引火の原因になります。
● お買い上げの販売店にアース工事（D 種接地工事、有料）をご相談ください。
アース工事は「電気工事士」資格が必要です。

[準備 9] 設置する

ディスプレイの画面が見やすい所に設置する

⚠ 注意

設置時は、次のことをお守りください。
詳しくは「安全のために必ずお守りください」をご覧ください。→ P6、P7

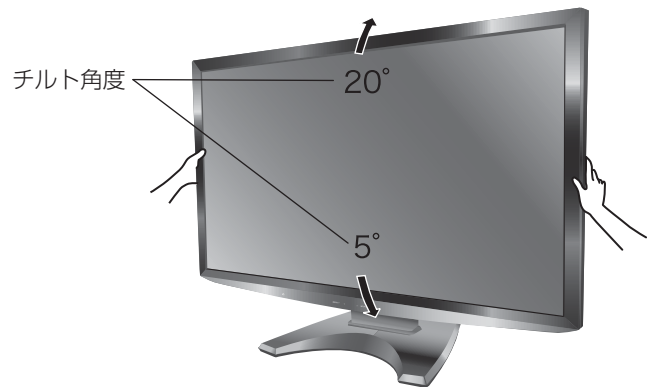
● 不安定な場所に置かないでください。
● 湿気やほこりの多い所、油煙や湿気があたるような所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。
● 通風口をふさがないようにしてください。
● 本機の上面、左右面は壁などから 10cm 以上の間隔をおいて設置してください。
● 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
● 上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください。
● 転倒・落下防止の処置を施してください。

[準備 10] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

角度を調節する

お好みに合わせて本機の画面の角度を調節してください。
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

⚠警告

- **角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。けがの原因になることがあります。**

液晶画面を押さないようにしてください。

[準備 11] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因になります。**
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**

お知らせ

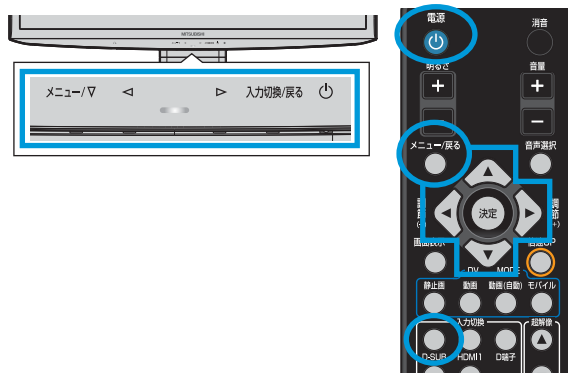
- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時（電源入時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。

自動調節をする（D-SUB 入力のとき）

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、更に調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P27 ～ P37
自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の 2 つに分かれています。
2 つともおこなってください。

お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。デジタル接続では自動調節は不要です。
- OSD 画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD の基本操作」→ P28 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「D-SUB」ボタンを押して、信号入力を（D-SUB）へ切り換える

3 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

4 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押して、OSD 画面を表示する

5 コントラストの自動調節をおこなう（オートコントラスト）

① 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して､「映像モード」の「オートコントラスト」を選択します。

② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「する」を選択します。

③ 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押して、オートコントラストを実行します。

入力された信号レベルに合わせて、コントラストの自動調節を開始します。

（実行中・・・）の表示が消えたらコントラストの自動調節は完了です。

手順 6 に進みます。

[準備 12] 画面調節（つづき）

6 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう（自動調節）

① コントラストの自動調節が完了した状態で、本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押して、グループアイコンへ戻ります。

② 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、グループアイコンの「サイズ位置」を選択します。

③ 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「自動調節」を選択します。

④ 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「▶」ボタンを押して、「する」を選択します。

⑤ 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押して、自動調節を実行します。

入力された信号に合わせて、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。

「実行中・・・」の表示が消えたら調節は完了です。

これですべての自動調節が完了しました。

7 本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを２回押して、OSD 画面を消す

お 願 い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。 → P34
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節でお好みの画面に調節してください。

[準備 13] Windows® セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® 7/8 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

[準備 14] 省エネ設定をする [必要に応じて]

ECO 設定の変更

1

① 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押して、OSD 画面を表示します。

② 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、グループアイコンの「ツール」を選択します。

③ 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO PROF.」を選択します。

④ 本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押して、「ECO PROF.」の詳細ページに移動します。

⑤ 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「切」「小」「中」「大」→ P42 の中から、お好みの設定を選択します。

お知らせ

● OSD の操作方法は、「OSD の基本操作」→ P28 を参照ください。

ECO メーターの表示

2 常に省エネ状態を確認できる「ECO メーター」を表示したい場合、ECO PROF. 詳細ページ画面で

① 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO メーター表示」を選択します。

② 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、「入」を選択します。

③ 本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「▼」ボタンを押して、「ECO メーターシースルー」を選択します。

④ 本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、お好みの透過率に設定します。

ECO メーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。
表示値：消費電力へ影響する「明るさ」「CRO」「ECO 設定」により値が変わります。

⑤ 本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを 3 回押し、OSD 画面を消します。

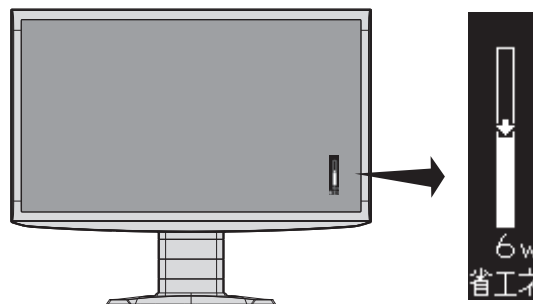
OSD 画面を消した後に、画面の右下に ECO メーターが設定した透過率で表示されます。→ P42

「ECO メーター」を表示したくない場合は、「切」を選択するか透過率を「0」にすると消えます。

省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。
「省エネ電力量リセット」を選択して、「する」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO_2 削減量」がゼロに戻ります。

お知らせ

● 上図の ECO メーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値（W）は変化します。

機能

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD 画面の構成

OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

グループアイコン
選択されているグループアイコンは青く表示されます。

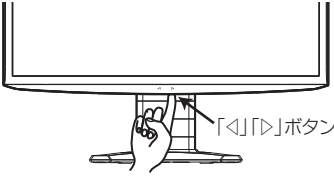
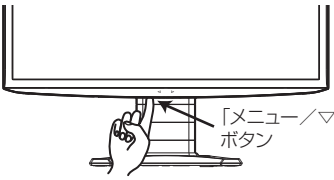
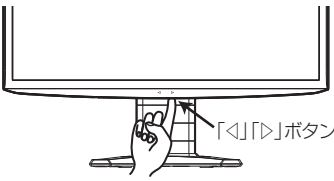
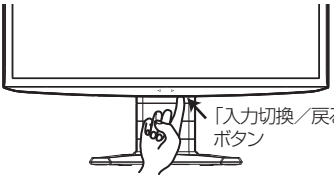
選択項目
選択項目が青い背景で表示されます。その他の項目を選択する方法を示す△▽◁▷が青い背景で表示された選択項目の上下左右に表示されます。

調節項目
調節できる項目は黄色で表示されます。調節や選択する方法を示す◁▷が両端に表示されます。
実行が必要な場合は、本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押します。

スキップアイコン
スキップ設定をした DV MODE にこのアイコンが表示されます。リモコンで DV MODE を切り換える際、このアイコンが表示された DV MODE はスキップされます。 → P31

チェックアイコン
チェックが入っている項目が選択されています。

黒色文字
映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

灰色文字
他の調節項目による使用制限のため使用できない場合、灰色文字になります。

ツリーアイコン
調節項目に対して更に詳細設定があることを示します。このとき本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押すと、詳細画面に移動します。

案内
次のページや制限、特別操作などがあるときは案内が表示されます。

OSD の基本操作

リモコンの「メニュー／戻る」ボタンまたは本体の「メニュー／▽」ボタンを押して、OSD画面を表示します。

リモコン操作	本体操作	OSD 画面
「◀」「▶」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する	「◁」「▷」ボタン 下側よりボタンを操作する 「◁」「▷」ボタンで、調節する項目のグループアイコンを選択する	選択したグループアイコンが青色になる
「▼」ボタンで、調節する項目を選択する	「メニュー／▽」ボタン 下側よりボタンを操作する 「メニュー／▽」ボタンで、調節する項目を選択する	選択した項目が青色になる
「◀」「▶」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる	「◁」「▷」ボタン 下側よりボタンを操作する 「◁」「▷」ボタンで、調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる	選択した調節項目の背景が黄色になったり、調節量表示サイドバーが増減する
メニュー/戻る 「メニュー／戻る」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す	「入力切換／戻る」ボタン 下側よりボタンを操作する 「入力切換／戻る」ボタンで、グループアイコン選択OSD画面に戻す	グループアイコン選択OSD画面になる

もう一度、リモコンの「メニュー／戻る」ボタンまたは本体の「メニュー／▽」ボタンを押すと、OSD画面が消えます。

グループの構成

各グループの構成は以下のようになっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。
映像入力または入力信号による使用制限のため使用できない場合、黒色文字になります。

お知らせ

● 本機は一般的なコンピューターと「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節により適切な画面を表示します。 → P24
但し、コンピューターによっては画面にちらつきや、にじみが生じることがあります。また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。その場合は OSD 機能を使用して画面の調節 → P30 ～ P47 をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

OSD 機能一覧

映像モード

静止画モードの例

動画モードの例

動画（自動）モードの例

モバイルモードの例（HDMI 接続の場合）

■ DV MODE（Dynamic Visual MODE）

DV MODE（画像表示モード）をお好みに応じて切り換えます。

【静止画】

スタンダード： 標準の設定です。

IV テキスト： 全体の明るさ、コントラストを抑え、目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。

フォト： 写真に適した設定です。

sRGB： 色再現国際規格 sRGB に対応した色で表現します。

【動画】

テレビ： テレビ番組の視聴に適した設定です。

ゲーム： 中間調にメリハリを付け、より迫力のある画像を提供する解像度の高いゲームに適した設定です。

シネマ： 暗いシーンの多い映画の鑑賞に適した設定です。

ネット： インターネットのストリーミング動画に適した設定です。

【動画（自動）】

入力される動画コンテンツの映像に合わせた適切な画質に自動的に切り換えます。

【モバイル】

スマートフォンなどのモバイル機器を接続して表示する場合に推奨するモードです。

テキスト： インターネットなどの文字表示が主体の画面に適した設定です。

フォト： 写真表示に適した設定です。

動画（高解像度）： モバイル機器で撮影した高解像度の動画に適した設定です。

動画（低解像度）： ストリーミング動画など、低解像度の動画に適した設定です。

お知らせ

● DV MODE とは、ゲーム、ネット、映画、写真、モバイルコンテンツなど、表示する内容に合わせた画質を設定・選択できる 12 のモード（スタンダード、IV テキスト、フォト、sRGB、テレビ、シネマ、ゲーム、ネット、テキスト、フォト、動画（高解像度）、動画（低解像度））の総称です。
DV MODE ごとに「解像度判別」「超解像レベル」「ブロック N/R」「エリアコントラスト」「肌色検出」「シャープネス」「3 次元 N/R」「明るさ」「D コントラスト」「CRO」「黒白伸張」「色のこさ」「色あい」をお好みに調節でき、また、調節した値を保存できます。

● 動画（自動）のときは､「超解像レベル」「ブロック N/R」「エリアコントラスト」「シャープネス」「D コントラスト」「色のこさ」は調節できません。

■ DV MODE スキップ設定

使用しない DV MODE をスキップ設定することで、リモコンでの DV MODE 切換の際、選択したい DV MODE を容易に選択できるようになります。

＜スキップ設定のしかた＞

① フロントボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定したい DV MODE を選択します。
② スキップ設定したい DV MODE にカーソルが表示されている状態で、リモコンの「決定」ボタンを押します。
③ 選択した DV MODE にスキップアイコンが表示され、スキップ設定が有効になります。

お知らせ

● 静止画、動画、モバイルのそれぞれにおいて、同時に3つまでがスキップ設定できます。

＜スキップ設定の解除のしかた＞

① フロントボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定を解除したい DV MODE を選択します。
② スキップ設定を解除したい DV MODE にカーソルが表示されている状態で、リモコンの「決定」ボタンを押します。
③ 選択した DV MODE のスキップアイコンが消え､スキップ設定が解除されます。

■ 残像感クリア

動画などを楽しむ場合に、動きの速い映像でも、ぼやけ感をおさえてブレの少ないくっきりとした動画を再現します。倍速クリアピクチャーをコンテンツに応じて切り換えます。

■ 倍速クリアピクチャー

60 コマ／秒で映し出される映像の間に、動きを予測した新たな映像を補間し、120 コマ／秒の映像を映し出す倍速補間技術により、なめらかで自然な動きを再現します。

切： 倍速クリアピクチャーは、機能しません。
入： 倍速クリアピクチャーの効果をかけます。

お知らせ

● 静止画でのご使用の場合は「切」の設定をおすすめします。
● スルーモードと倍速クリアピクチャーの併用はできません｡「スルーモード」を「入」に設定すると「倍速クリアピクチャー」は「切」になります。
● 倍速クリアピクチャーは映像によっては効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「切」にしてください。

■ シネマモード

フィルム映像（24 コマ）や 30 コマのコンテンツに適した表示モードをお好みにより選択できます。

切： シネマモードが「切」になります。
フィルム： フィルム映像の動きを忠実に再現します。（映像を補間しません｡）
なめらか： フィルム映像の動きをなめらかに表示します。（24 コマや 30 コマ間の映像を予測補間します｡）

お知らせ

● シネマモードは、映像によっては効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「切」にしてください。

■ 解像度判別

入力される映像の解像度に応じて、超解像レベル、ブロック N/R、エリアコントラスト、肌色検出の効果を適用できます。

オート： 自動で入力映像の解像度を判別し、判別した解像度に応じた効果を適用します。
HD： 高解像度の映像に適した効果を適用します。
SD： 中解像度の映像に適した効果を適用します。
LD： ストリーム動画コンテンツなど、低解像度の映像に適した効果を適用します。

■ 超解像レベル

静止画／自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換、美しい映像をご覧いただけます。
調節バー（0 ～ 100）が表示されます。10 ステップの 10 レベルが調節可能です。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みに応じて調節してください。

お知らせ

● 超解像技術の効果は入力画像の種類や解像度によって異なります。
コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。
● 肌色検出の設定によって、効果を適用する範囲が変わります。
肌色検出が「切」のとき：
画面全体に同じレベルの超解像効果が適用されます。
画面全体に同じレベルの超解像効果を適用したい場合には、肌色検出を「切」に設定してください。
肌色検出が「入」のとき：
肌色の部分に対しての超解像効果が弱くなります。人肌のしわなどは強調せず、それ以外の映像部分に対してのみ超解像効果を適用したい場合には、肌色検出を「入」に設定してください。

■ ブロック N/R（ブロックノイズリダクション）

MPEG2 方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG 方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

お知らせ

● 効果を強くかけすぎると、全体がぼやけた映像になります。
● 解像度判別の設定によって、効果の程度が変化します。
（効果大）LD ＞ SD ＞ HD（効果小）
● 肌色検出の設定によって、効果を適用する範囲が変わります。
肌色検出が「切」のとき：
画面全体にブロック N/R の効果が適用されます。
画面全体のブロックノイズを除去したい場合には、肌色検出を「切」に設定してください。
肌色検出が「入」のとき：
肌色と検出された映像部分にのみブロック N/R の効果が適用されます。肌色部分だけを滑らかにし、それ以外の映像はくっきりと表示したい場合には、肌色検出を「入」に設定してください。

■ エリアコントラスト

明るい部分と暗い部分が混在している場合でも、明るい部分、暗い部分、それぞれの部分に対してコントラスト感を改善することができます。
Dコントラスト（→P32）と併用することで、全体のコントラスト感を上げながら、映像の細部もしっかり表現することができます。

＜動作例＞

画面全体が明るい映像の場合：
Dコントラストだけでは、明るい部分のコントラスト感は向上しますが、暗い部分の映像の鮮明さが弱くなります。エリアコントラストを動作させることにより、暗い部分のコントラスト感を改善します。

画面全体が暗い映像の場合：
Dコントラストだけでは、暗い部分のコントラスト感は向上しますが、明るい部分の映像の鮮明さが弱くなります。エリアコントラストを動作させることにより、明るい部分のコントラスト感を改善します。

お知らせ

● 解像度判別の設定によって、効果の程度が変化します。（効果大）LD＞SD＞HD（効果小）
● 肌色検出の設定とは連動していません。

■ 肌色検出

映像中の肌色部分を検出し、「超解像レベル」「ブロックN/R」の効果の適用範囲を変えます。

お知らせ

● 検出された肌色部分に対する効果のかかり方は、「超解像レベル」「ブロックN/R」で異なります。
肌色検出が「入」のとき、「超解像レベル」は肌色部分に対して効果が弱くなります。肌色以外の部分に対しては、肌色検出が「切」のときと同じ「超解像レベル」効果が適用されます。
肌色検出が「入」のとき、「ブロックN/R」は肌色以外の部分に対して効果が弱くなります。肌色部分に対しては、肌色検出が「切」のときと同じ「ブロックN/R」効果が適用されます。

肌色検出が「切」のとき：

【超解像レベル】
画面全体に超解像効果が適用されます。

【ブロックN/R】
画面全体にブロックN/Rが適用されます。ブロックノイズ除去を目的として使用される場合は、肌色検出を「切」に設定してください。
※肌色検出を「入」にすると、肌色以外の領域に対するブロックノイズ除去の効果がなくなります。

肌色検出が「入」のとき：

【超解像レベル】
肌色の部分に対しての超解像効果が弱くなります。人肌のしわなどは強調せず、それ以外の映像部分に対してのみ超解像効果を適用することができます。

【ブロックN/R】
肌色の部分に対してのみノイズリダクション効果が適用され、肌色以外の領域にはノイズリダクション効果が適用されなくなります。人肌がなめらかに表現され、それ以外の映像部分はくっきりと表現されます。

■ シャープネス

調節バー（0～100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、文字や画像のキレをお好みに応じて調節してください。

■ 3次元N/R（3次元ノイズリダクション）

映像の細かいざらつき（モスキートノイズ）を低減します。
切：3次元N/Rの機能を切にします。
弱：3次元N/Rの効果を弱くかけます。
強：3次元N/Rの効果を強くかけます。

お知らせ

● 3次元N/Rをかけると、細部がぼやける傾向があります。

■ 明るさ

調節バー（0～100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みの明るさに調節してください。

■ Dコントラスト（ダイナミックコントラスト）

コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。

お知らせ

● DV MODEで「フォト」「sRGB」を選択しているときは、Dコントラストが使用できません。

■ CRO

CRO（コントラストレシオオプティマイザー）機能を入／切します。
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。
画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

お知らせ

● DV MODEで「フォト」「sRGB」を選択しているときは、CROが使用できません。

■ 黒白伸張

入力映像に対して、黒白伸張をおこなうかどうかを選択します。
入：ゲーム機器やDVDプレーヤーの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張されます。
切：コンピューターの映像を視聴する場合に選択してください。黒白伸張はおこないません。

お知らせ

● 映像が黒浮きしているような場合は、「入」を選択してください。
● 映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合は、「切」を選択してください。
● DV MODEで「IVテキスト」「フォト」「sRGB」を選択しているときは、黒白伸張が使用できません。

■ 色のこさ

お好みに応じて画面の色のこさを調節できます。
値を大きくすると、色がこくなります。

お知らせ

● DV MODEで「IVテキスト」「sRGB」を選択しているときは、色のこさが使用できません。

■ 色あい

お好みに応じて画面の色あいを調節できます。
値を大きくすると、肌色が緑がかります。値を小さくすると、肌色が紫がかります。

お知らせ

● DV MODEで「IVテキスト」「sRGB」を選択しているときは、色あいが使用できません。

■ オートコントラスト

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
コントラストを自動調節します。
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」→ P24 をご覧ください。

■ コントラスト

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、画面をお好みのコントラストに調節してください。

■ ブラックレベル

黒レベルを手動調節します。画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。

■ 映像モード　リセット

現在選択している DV MODE ページの選択項目のすべてを工場出荷時設定に戻します。

サイズ位置

■ 自動調節

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。
自動調節の詳しい手順については「自動調節をする」 → P24 をご覧ください。

■ 水平位置

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右方向の表示位置を調節してください。

お知らせ

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D 端子」のときは、オーバースキャン動作時（100%フル以外）に使用できます。

■ 垂直位置

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、上下方向の表示位置を調節してください。

お知らせ

入力が「DVI-D」のときは、使用できません。
入力が「HDMI1」「HDMI2」「D 端子」のときは、オーバースキャン動作時（100%フル以外）に使用できます。

■ 水平サイズ

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節します。
調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、水平サイズを調節してください。

■ 位相

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合に調節します。
調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、位相を調節してください。

■ 画面サイズ

自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号の解像度が表示画素数より低い場合に機能します。
オーバースキャン動作時は、選択された画面サイズに対してオーバースキャン表示をします。

フル： 入力映像信号を画面全体に拡大します。
アスペクト比（縦横比率）が 16：9 以外の信号が入力された場合、アスペクト比が変わります。

アスペクト： 入力映像信号のアスペクト比を保持したまま、できるだけ画面いっぱいに映像信号を拡大します。
このため、入力される映像信号によっては、表示画面の縦または横方向に黒帯ができます。

2x ズーム： 入力映像信号の解像度を縦横 2 倍に拡大表示します。
縦横 2 倍拡大できない映像信号が入力された場合は、「リアル」と同じ動作となります。

リアル： 入力映像信号の解像度のままで表示します。（画面は拡大されません。）

■ **アスペクト比**

HDMI1 ／ HDMI2 ／ D 端子入力で、D1 ／ D2 の映像信号が入力されたときのみ有効です。
「アスペクト」「2x ズーム」「リアル」でアスペクト比が保持されていないときに調節します。「自動」を手動設定で「4：3」「16：9」に切り換えてください。

自動： NTSC4：3 と NTSC スクイーズの映像信号を自動で真円になるように調節します。

16：9： 画面を垂直方向に 0.84 倍、縮小します。
NTSC スクイーズの映像信号が真円になります。
その他の映像信号では円が縦につぶれます。

NTSCスクイーズの映像信号　　NTSCスクイーズの映像信号を16：9で調節した画面

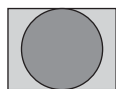
4：3： 画面を垂直方向に 1.125 倍、拡大します。
NTSC4：3 の映像信号が真円になります。
その他の映像信号では円が横につぶれます。

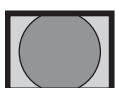
NTSC4：3の映像信号　　NTSC4：3の映像信号を4：3で調節した画面

ポータブル： D 端子入力の場合のみ有効です。携帯用ゲーム機器から出力された 720 × 480 の映像信号が、自動的にフルスクリーンでディスプレイに表示されます。

■ **オーバースキャン**

オーバースキャン率を設定します。
AV 信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

100% ／フル：
入力された映像をそのまま表示します。
画面サイズ → P34 で選択されたサイズに対してフル表示します。
入力される映像によっては、画面の外周部にノイズが見えることがあります。

NTSC4：3の映像信号を
100%／フルで調節した画面

98%：
入力された映像の周囲をカットし、元映像の 98% を表示します。
「100% ／フル」の設定で画面の外周部にノイズが見える場合は、「98%」を選択してください。
画面サイズ → P34 で選択されたサイズに対して周囲をカットし、98% 表示します。

98%で調節された画面のイメージ

95%：
98% と同じように 95% で表示します。

93%：
98% と同じように 93% で表示します。

お知らせ

- D-SUB/DVI-D/HDMI の PC タイミングではオーバースキャンは使用できません。
- 「オーバースキャン」を「100% ／フル」以外に設定すると、画面位置が調節できるようになります。
- 「スルーモード」を「入」に設定すると、「オーバースキャン」は「100% ／フル」になります。

■ **スルーモード**

ディスプレイ内部の映像信号の遅延時間を短縮するモードです。映像と音声のズレが気になる場合にご使用ください。

お知らせ

- 「スルーモード」は、画像処理の機能を制限することで、遅延時間短縮を実現しています。
このため、色調節など、いくつかの機能が使用できなくなります。
また、映像の種類によっては、階調のなめらかさが損なわれるなど、画質が低下する場合があります。
- 「スルーモード」を使用しても、映像と音声が完全に同期しない場合があります。
- 静止画でのご使用の場合は、「スルーモード」を「切」で使用することを推奨します。
- 「スルーモード」を「入」にすると子画面は消えます。
- 「スルーモード」を「入」にすると画面サイズはアスペクト表示になります。
- 「スルーモード」を「入」にすると「倍速クリアピクチャー」は「切」の動作となります。
- 「スルーモード」を「入」にすると「シネマモード」は「切」の動作となります。
- HDMI、D 端子入力のときは、「スルーモード」を「入」にすると、オーバースキャンはフル（100%）になります。
- 480i や 1080i の信号が入力されているときに「スルーモード」を「入」にすると、コンテンツによってはちらつきが発生する場合があります。
- 入力される映像信号の垂直周波数（リフレッシュレート）が 60 Hz 以外の場合、「スルーモード」が使用できません。→ P46, P50

■ **解像度切換**

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。
「1024 × 768」、「1280 × 768」、「1280×1024」、「1360 × 768」、「1400 × 1050」、「1680×1050」の入力信号の解像度を、手動にて直接指定することができます。
上記の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。
その場合、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

お知らせ

- OSD 上に表示されている解像度以外の信号（例：640 × 480）が入力された場合、本機能は機能しません。

■ **サイズ位置　リセット**

サイズ位置のページの選択項目のすべてを工場出荷時設定に戻します。

色温度

■ **色温度**

お好みに応じて画面の色温度を５つのモードから選択できます。

＜モードの種類＞

NATIVE： 液晶パネル本来の色温度で表示します。（調節できません）
1/Cal.： EASYCOLOR！3 用の設定です。
2/9300K： 色温度 9300K で表示します。
3/6500K： 色温度 6500K で表示します。
4/5000K： 色温度 5000K で表示します。

■ **赤色、緑色、青色**

それぞれの色を個別に調節することにより、色温度をお好みに調節できます。
調節すると色温度の表示が USER に変わります。ここでの調節はリセットで戻すことができます。

■ **色温度　リセット**

現在選択している色温度のページの選択項目のすべてを工場出荷時設定に戻します。

音声

■ **高音**

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、高音域の音量を調節します。

■ **低音**

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、低音域の音量を調節します。

■ **バランス**

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、左右の音のバランスを調節します。◁方向に動かすと左の音声が大きくなり、▷方向に動かすと右の音声が大きくなります。

■ **音量**

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、音量を調節します。

お知らせ

● 本機は二重音声（二カ国語音声）には対応しておりません。

■ **消音**

本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、消音機能の「しない」「する」を選択します。
リモコンで消音にするとアイコンが約３秒表示され、消えます。
解除するには、消音機能を「しない」にするか、リモコンの「消音」ボタン、または「音量」ボタンを押してください。

■ **音声選択**

表示中の映像に関係なく、他の入力の音声を選択できます。

親画面連動：

親画面の映像入力が切り換わると、連動して音声入力も切り換わります。

子画面連動：

子画面の映像入力が切り換わると、連動して音声入力も切り換わります。子画面が表示されていない場合は、親画面の音声入力に切り換わります。

PC、HDMI1、HDMI2、D 端子：

お好みの音声入力を選ぶことができます。また、映像入力を切り換えても音声入力は切り換わりません。

お知らせ

- 親画面または子画面入力が HDMI1 のときは、「HDMI2」を選択しても、HDMI2 の音声は出力されません。
- 親画面または子画面入力が HDMI2 のときは、「HDMI1」を選択しても、HDMI1 の音声は出力されません。
- HDMI の音声を選択したとき、すぐに音声が出力されない場合があります。

組み合わせ　（○：音声が出る組み合わせ　　×：音声が出ない組み合わせ）

表示画面 / 音声選択	DVI-D/ D-SUB	HDMI1	HDMI2	D 端子
親画面連動	○	○	○	○
子画面連動	○	○	○	○
PC	○	○	○	○
HDMI1	○	○	×	○
HDMI2	○	×	○	○
D 端子	○	○	○	○

2 画面

■ 入力切換

子画面に表示させたい映像入力を選択します。
「切」を選択すると子画面は消えます。

2 画面表示可能な、親画面と子画面の組み合わせ

親画面＼子画面	DVI-D	D-SUB	HDMI1	HDMI2	D 端子
DVI-D		○	○	○	○
D-SUB	○		○	○	×
HDMI1	○	○		×	○
HDMI2	○	○	×		○
D 端子	○	×	○	○	

お知らせ

- 子画面の音声を出力させたい場合は、OSD 機能の「音声」の「音声選択」→ P37 を「子画面連動」に設定してください。
- 映像信号の垂直周波数が 60 Hz 以外の場合、2 画面表示できない場合があります。
- 「サイズ位置」の「画面サイズ」「アスペクト比」「オーバースキャン」の設定によっては、2 画面表示できない場合があります。
- スルーモードが「入」のときは、2 画面表示はできません。

■ 子画面タイプ

子画面を表示するタイプを選択します。
PinP： 親画面の中に他の入力映像を子画面として表示します。
PoutP： 親画面の右側に他の入力映像を子画面として並べて表示します。

お知らせ

- PoutP を選択した場合、親画面として入力される映像の水平解像度が 1280 ドットを超える場合は、親画面の水平解像度を 1280 ドットに縮小して表示します。その際、垂直解像度も同じ比率で縮小して表示します。
  例：親画面の入力映像の解像度が 1920 × 1080 の場合、親画面は 1280×720 で表示されます。

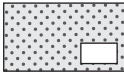
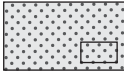
■ 子画面サイズ

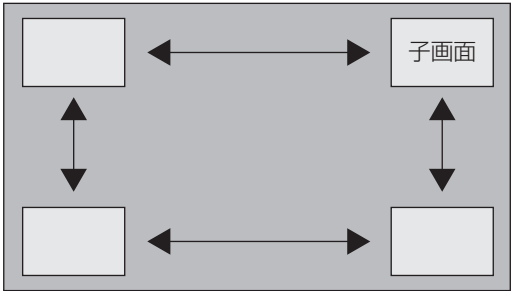
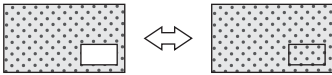
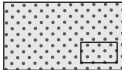
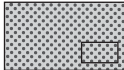
子画面の大きさを設定します。映像信号の種類によって、適切な縦横比で、子画面表示します。

サイズ＼映像信号	4：3	5：4	16：9
小	320 × 240	400 × 240	426 × 240
中	480 × 360	450 × 360	640 × 360
大	680 × 510	638 × 510	906 × 510

お知らせ

- 子画面タイプが PoutP のときは、子画面サイズは選択できません。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

■ 子画面位置

右上、右下、左下、左上から選べます。

お知らせ

- 子画面タイプが PoutP のときは、子画面位置は選択できません。
- リモコンの子画面位置ボタンによる操作時は、右上 → 右下 → 左下 → 左上 → ･･･ のように動作します。

■ 超解像モード

画面の状態	
子画面が表示されていないとき	リモコンの子画面用「超解像」ボタンは無効です。

画面の状態	リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13	リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13 または OSD 画面の「映像モード」で「超解像レベル」を設定したとき → P31
子画面が表示されていて、親画面の「超解像」が「0（切）」のとき	子画面内の「超解像」が入→切→入のように切り換わります。 入のときの子画面内の超解像効果は、「2 画面」の「超解像レベル」で設定したレベルになります。	親画面の「超解像」を設定した時点では、子画面には「超解像」は適用されません。 上記の状態からリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、親画面で設定した「超解像」と同じ設定が子画面に適用されます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

画面の状態	リモコンの子画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13	リモコンの親画面用「超解像」ボタンを押したとき → P13 または OSD 画面の「映像モード」で「超解像レベル」を設定したとき → P31
親画面と子画面の「超解像」が入のとき （このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。）	子画面の「超解像」は、切になります。更に続けてリモコンの子画面用「超解像」ボタンを押すと、子画面には親画面で設定した「超解像」と同じ設定が適用されます。 ⇔	子画面は、親画面の「超解像」設定が「0（切）」のとき以外は、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されます。 リモコンまたは OSD メニューで「超解像」を設定したとき ⇔ ⇔ ⇔

画面の状態	リモコンの子画面「親子切換」ボタンを押したとき → P13
親画面と子画面の「超解像」が入のとき （このとき子画面には、親画面の「超解像」と同じ設定が適用されています。）	親子切換をおこなうと、子画面と親画面が切り換わって表示されます。 このとき親画面は、その映像入力において親画面用に設定した「超解像」の設定になります。

<例>

	親画面	子画面
入力	D-SUB	DVI-D
超解像設定	30	親画面に追従（30）

親子切換

	親画面	子画面
入力	DVI-D	D-SUB
超解像設定	50 * DVI-D 入力に対する OSD メニューでの設定になります	親画面に追従（50）

お知らせ

● 親画面と子画面の「親子切換」は、本体の OSD 画面ではできません。リモコンの「親子切換」ボタン → P13 でのみ操作できます。

■ 画面スタイル

スマートフォンなどのモバイル機器からの出力映像を子画面に縦画面で表示する場合に、不要な黒帯部分を表示しないよう画面スタイルを切り換えます。

スタイル１： 入力されるモバイル機器の映像が横画面のときに選択します。
スタイル２： 入力されるモバイル機器の映像が縦画面のときに選択します。有効画面が比較的小さいサイズの場合に適しています。
スタイル３： 入力されるモバイル機器の映像が縦画面のときに選択します。有効画面が比較的大きいサイズの場合に適しています。
スタイル４： スタイル２や３で有効画面が切れたり黒帯部分が残っている場合に選択すると、表示サイズを微調節することができます。

メニュー画面でスタイル４を選択した状態でリモコンの「スタイル」ボタンを押すと、下図のようなサイズ調節用の OSD が表示され、子画面の縦横それぞれの表示サイズを調節することができるようになります。

水平：子画面の横サイズを調節します。
垂直：子画面の縦サイズを調節します。

調節完了後、本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンでメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- スタイル４で調節中に電源を「切」にした場合、次に電源を「入」にしたときには、調節前に親画面であった入力映像が表示され、子画面および調節画面は解除されます。
- スタイル４で調節中に当該入力映像がなくなった場合、調節画面はそのまま継続されますが、子画面の映像は表示されません。入力映像が復帰した場合は、引き続き調節可能です。
- スタイル４での調節中は、子画面が点滅しますが、故障ではありません。
- モバイル機器によっては、スタイル４での調節をおこなっても、黒帯部分を完全に取り除くことができない場合があります。
- スタイル１以外が選択された場合、オーバースキャンの設定は反映されません。画面スタイルの設定が優先されます。

■ 画面スタイル スキップ設定

使用しない画面スタイルをスキップ設定することで、リモコンの「スタイル」ボタンでの画面スタイル切換の際、選択したい画面スタイルを容易に選択できるようになります。

＜スキップ設定のしかた＞

①本体底面のボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定したい画面スタイルを選択します。
②スキップ設定したい画面スタイルにカーソルが表示されている状態で、リモコンの「決定」ボタンを押します。
③選択した画面スタイルにスキップアイコンが表示され、スキップ設定が有効になります。

＜スキップ設定の解除のしかた＞

①本体底面のボタンまたはリモコンを用いて、OSD 画面でスキップ設定を解除したい画面スタイルを選択します。
②スキップ設定を解除したい画面スタイルにカーソルが表示されている状態で、リモコンの「決定」ボタンを押します。
③選択した画面スタイルのスキップアイコンが消え、スキップ設定が解除されます。

お知らせ

- スタイル１はスキップ設定できません。
- スタイル２、スタイル３、スタイル４のうち、同時に２つまでがスキップ設定できます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

ツール

ツール画面

ECO PROF. 詳細ページ

■ ECO PROF.

ECO Professional 機能とは省エネに配慮した下記の機能の総称です。

本体の「▷」ボタンまたはリモコンの「決定」ボタンを押すと右上図のページに切り換わり、下記の項目が調節できます。

ECO PROF. 詳細ページから戻るには、本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押します。

◆ ECO 設定

「切」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

切：省エネモード設定を解除します。

小：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 6 W（＊）削減します。

中：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 16 W（＊）削減します。

大：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 21 W（＊）削減します。

お知らせ

- 「小」「中」「大」時には、画面の明るさが低減します。
- （＊）マーク説明：
  画面全体の平均輝度が 75%以上の状態において ECO 設定「切」にした状態との比較値です。
  （当社測定結果による）

◆ ECO メーター表示

現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

切：ECO メーターは表示しません。

入：画面右下に ECO メーターを表示します。

お知らせ

- 省エネ電力値：ECO 設定の動作時や画面の明るさを暗くしたときに得られる電力削減値です。

◆ ECO メーターシースルー

ECO メーターの表示透過率を調節します。

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、ECO メーターの表示透過率をお好みの状態に調節してください。

◆ 電源自動オフ

信号入力が無い場合の自動電源オフモードの設定をします。

切：自動電源オフしません。

入：信号入力が無くなってから約 30 分後に電源を切ります。

お知らせ

- 本機能動作後は、電源が切られているため、再度使用される場合は、本体の電源スイッチまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を「入」にしてください。

◆ オフタイマー

「15 分」「30 分」「60 分」「90 分」「120 分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源を切ります。

◆ 省エネ電力量リセット

「する」を選択すると、ECO PROF. 詳細ページに表示している省エネ電力量と省エネ率表示値および CO_2 削減量がゼロにリセットされます。

お知らせ

- 省エネ電力量と省エネ率表示値は 5 年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。
- 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値および CO_2 削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることを推奨します。

◆ **省エネ電力量（表示のみ）**

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率および CO_2 削減量を OSD 画面上に表示します。

省エネ電力量： ご使用を始めて（またはリセットした時点）から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「＊＊＊．＊＊ kWh」で表示します。なお、本機の電源スイッチ「切」の時間は含まれません。

省エネ率： 省エネ電力量の削減効果を「＊ %」で表示します。表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。

CO_2 削減量： 省エネ電力量を CO_2 削減量に換算した値を「＊＊ kg」で表示します。

お知らせ

- CO_2 削減量は、1 kWh=0.4 kg（「各国における発電部門の CO_2 排出原単位の推計報告書 -Ver.3 (2006.6Revised)-」(JEMA) より）を用いて算出。

■ 言語（LANGUAGE）

OSD 画面の表示言語を切り換えます。
日本語と英語（English）が選択できます。

■ 電源ランプ明るさ

調節バー（0 ～ 100）が表示されます。本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押して、電源ランプをお好みの明るさに調節してください。

■ PC 入力自動切換

信号が入力されている入力端子を自動的に選択する機能です。選択されている入力端子は OSD 画面「情報」の「入力信号」で確認できます。

入： 現在表示している入力端子からの信号がなくなったとき、他の入力端子から信号を入力している場合は表示を自動的に切り換えます。

切： 入力信号の表示の自動切換をおこないません。

お知らせ

- PC 接続（DVI-D および D-SUB 接続）にのみ対応しています。
- 変換ケーブルや変換アダプターなどを使用して、HDMI1、HDMI2 端子に PC 信号を入力することが可能ですが、これらの入力に対して入力自動切換機能は機能しません。この場合は、本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「映像入力」ボタンを押して、入力を切り換えてください。

■ DDC/CI

DDC/CI → P58 通信による各種操作を制限する機能です。DDC/CI 通信を入／切します。

■ 液晶モード切換

液晶パネルはその性質上、特に静止画において、表示する映像によっては不要な色つきや尾引きが発生する場合があります。本機には、この問題を解消するために、液晶モード切換機能が装備されています。
万が一、表示映像に不要な色つきや尾引きが発生した場合は、切り換えてご使用ください。

タイプ A： 尾引きが発生した場合に選択してください。
タイプ B： 色つきが発生した場合に選択してください。

お知らせ

- 通常はタイプ A でご使用ください。

■ 操作ロック

誤って調節してしまうことを防ぐための OSD 画面操作禁止機能です。操作ロック中でも明るさと音量は調節可能です。ロックの設定／解除の操作は、リモコンではできません。以下の手順にしたがって、本体のボタンで操作してください。

<ロックの設定>

OSD 画面を表示し、「ツール」の「操作ロック」が選択されている状態で本体の「▷」ボタンを押しながら「入力切換／戻る」ボタンを押すとロックが完了します。

<ロックの解除>

「操作ロック」の OSD を表示させ、再び本体の「▷」ボタンを押しながら「入力切換／戻る」ボタンを押すと操作ロックは解除されます

お知らせ

- ロック中でも、リモコン操作は可能です。
- ロック中は、本体ボタンでの入力切換、電源入／切、「◁」「▷」ボタン（ホットキー）による明るさと音量の調節ができる状態になります。

■ サイドカラー

画面サイズでアスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節します。
R、G、B の中から色を選択し、それぞれの色を調節します。

■ OSD 水平位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 垂直位置

OSD 画面をお好みの位置に調節してください。

■ OSD 表示時間

メニュー

OSD 画面を表示させた後、OSD 画面が自動的に消える時間を設定する機能です。
10 秒から 120 秒まで、5 秒ごとの設定が可能です。

インフォメーション

案内画面、注意画面の表示時間を設定します。設定された時間になると、案内画面が自動的に消えます。
1 秒から 10 秒まで、1 秒ごとの設定が可能です。
「切」に設定すると、案内画面、注意画面は表示されなくなります。

■ シンク設定

DVI-D 入力および HDMI 入力でデジタル接続する際の制御信号の種類を設定します。
本機能は DVI-D 入力および HDMI 入力時に設定できます。設定は選択している入力に対してのみ可能で、DVI-D 入力および HDMI 入力個別に設定できます。（入力信号が無い場合の設定は、「お知らせ」を参照ください。）

「1」：コンピューター接続時に推奨します。但し、コンピューターによっては映像が正常に表示されない場合があります。この場合は、「2」に設定して、コンピューターを再起動してください。

「2」：AV 機器接続（HDMI 入力）時に推奨します。但し、AV 機器によっては映像が正常に表示されない場合があります。この場合は、「1」に設定して、AV 機器を再起動してください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

お知らせ

● 入力信号が無い場合のシンク設定方法

本体の電源スイッチまたはリモコンの電源ボタン以外のいずれかのボタンを押し、画面に「NO SIGNAL」（右図）が表示されているときに本体の「メニュー／▽」ボタンを５秒以上長押しすると選択している入力に対するシンク設定画面が表示されます。

シンク設定の設定値「1」または「2」を本体の「◁」「▷」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンで選択し、本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押すと、画面が「NO SIGNAL」に戻ります。その後、コンピューターまたはＡＶ機器を再起動してください。

■ **初期設定に戻す**

「映像モード」、「サイズ位置」、「色温度」、「音声」、「2 画面」、「ツール」の各設定を工場出荷時設定に戻します。

お知らせ

● ECO PROF. の省エネ電力量と省エネ率および CO_2 削減量はリセットされません。リセットしたい場合は、ECO PROF. の「省エネ電力量リセット」を実行してください。

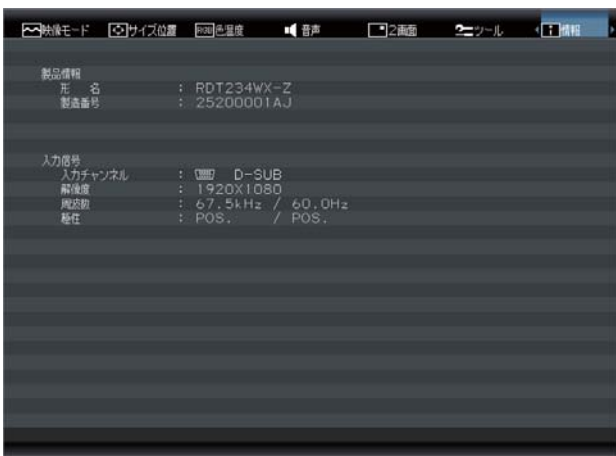
●「言語」「消音」「シンク設定」はリセットされません。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

情報

映像モード　サイズ位置　色温度　音声　2画面　ツール　情報

製品情報
形　名　: RDT234WX-Z
製造番号　: 25200001AJ

入力信号
入力チャンネル　: D-SUB
解像度　: 1920X1080
周波数　: 67.5kHz / 60.0Hz
極性　: POS. / POS.

■ 製品情報

形名と製造番号が確認できます。

■ 入力信号

現在表示している入力チャンネルと信号情報が確認できます。

お知らせ

● 製造番号は本機の背面に貼り付けてある定格ラベルでも確認できます。

工場プリセットタイミング（PC 信号）

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。但し、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によっては正しく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、自動調節 → P24 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640×480	35.0 kHz	66.7 Hz	Macintosh
832×624	49.7 kHz	74.5 Hz	Macintosh
720×400	31.5 kHz	70.1 Hz	
640×480	31.5 kHz	60.0 Hz	
640×480	37.9 kHz	72.8 Hz	
640×480	37.5 kHz	75.0 Hz	
800×600	35.2 kHz	56.3 Hz	
800×600	37.9 kHz	60.3 Hz	
800×600	48.1 kHz	72.2 Hz	
800×600	46.9 kHz	75.0 Hz	
1024×768	48.4 kHz	60.0 Hz	
1024×768	56.5 kHz	70.1 Hz	
1024×768	60.0 kHz	75.0 Hz	
1152×864	67.5 kHz	75.0 Hz	
1152×870	68.7 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280×960	74.8 kHz	75.0 Hz	Macintosh
1280×1024	64.0 kHz	60.0 Hz	
1280×1024	80.0 kHz	75.0 Hz	
1680×1050	65.3 kHz	60.0 Hz	
1360×768	47.7 kHz	60.0 Hz	
1600×900	60.0 kHz	60.0 Hz	
1920×1080	33.7 kHz	59.9 Hz	1080i
1920×1080	67.5 kHz	59.9 Hz	1080p（推奨タイミング）
1280×720	45.0 kHz	59.9 Hz	720p
720×480	31.5 kHz	59.9 Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、自動調節 → P24 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「初期設定に戻す」→ P44 を実行すると、すべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5 ～ 82.3 kHz、垂直周波数 56 ～ 76 Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機の OSD 機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1920 × 1080 より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play 機能

VESA の DDC（Display Data Channel）2B 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA：No Touch Auto Adjust）

（800 × 600 以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。
入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

NTAA 実行中画面

お知らせ

● アナログ入力信号（D-SUB 入力）のみ有効です。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
標準	66 W	点灯
スリープモード時	1 W 以下（AC100 V 時）	点滅

水平または垂直同期信号がオフ状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

ディスプレイ情報記録機能

本機はトラブル発生時に接続端子や入力信号等の情報を本体に記録できるディスプレイ情報記録機能を搭載しています。修理受付の際にオペレーターがディスプレイ情報記録の取得操作をお願いする場合がございますので、ご了承ください。

【ディスプレイ情報記録の取得操作方法】

1. 電源コードが本体に差し込まれていることをご確認ください。
2. トラブル発生状態のままで、ディスプレイ本体のメニュー／▽ボタンを 10 秒間以上押し続けてください。
取得動作が開始すると、電源ランプが点滅します。この状態で 15 秒程度お待ちください。
電源ランプの点滅が止まると操作完了です。

お知らせ

● 電源ランプ点滅中は電源コードを抜かないでください。
● 正常に情報収集できない場合がありますので、故障時以外はディスプレイ情報記録の取得操作をおこなわないでください。
● 本機能はお客様の個人情報や表示映像の収集はおこないません。

困ったとき

故障かな？と思ったら

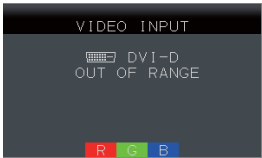
表示されないときは…　このようなときは、チェックしてください。

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P11, 13
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P12, 22
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	−
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	−
		電源自動オフを「入」に設定していませんか？ 再度電源スイッチを「入」にして設定を確認してください。	P42
	電源ランプが点灯している場合	本体の「メニュー / ▽」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押して OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P11, 13
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「映像モード」の「明るさ」と「コントラスト」を調節してください。	P32, 33
		● OSD 画面が正常に表示され、「明るさ」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P18 〜 19, 46
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P54
		HDCP 対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	−
	電源ランプが点滅している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P47
		信号ケーブルが本機またはコンピューターの信号入力端子に正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P18 〜 19
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P18 〜 19
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	−
		入力選択が合っていない可能性があります。 本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押して入力切換をおこなってください。	P11, 13
		本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P54
突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 本体に接続されているすべてのケーブルを抜いて差し直してください。	P18〜22
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用している LED バックライトには寿命があります。	P54

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	電源ランプが点灯しない場合	オフタイマーが設定されている可能性があります。再度電源を入れてください。	P42
		電源自動オフを「入」に設定していませんか？ 再度電源スイッチを「入」にして設定を確認してください。	P42
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	線の太さなどがぼやける	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。 または、OSD 画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続の場合は、「自動調節」を実行すると軽減できる場合があります。	P46 P32 P24
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは LED バックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	–
	画面を切り換えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	P9, 59
	表示が横長に伸びている	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。 または、OSD 画面により「画面サイズ」を「アスペクト」または「リアル」に設定してください。	P46 P34
	OSD 画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	色あい、色のこさなどを調節したり、超解像モード、ダイナミックコントラストなどの機能を「入」にすると OSD 画面表示状態に影響を与える場合があります。映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	–

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押して OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P11, 13
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「色温度」の「色温度」を調節するか、「ツール」の「初期設定に戻す」で工場出荷時設定に戻してください。	P36, 44
		● OSD 画面が正常に表示され、「色温度」の「色温度」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P18 ～ 19, 46
		● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P54
		ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P18～21
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P18 ～ 19
	画面がちらつく（上記以外の場合）	本体の「メニュー／▽」ボタンまたはリモコンの「メニュー／戻る」ボタンを押して OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P11, 13
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「サイズ位置」の「位相」を選択し、調節してください。	P34
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P18 ～ 19, 46
		● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P54
		「超解像」設定が「入」の場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。超解像レベルを変更してください。	P31, 39
		上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを 60Hz に設定してください。	－
	画面中央に境界線が出て左右で画質が異なるまたは、画面上下で画質が異なる	工場調整画面になっている可能性があります。「ツール」の「初期設定に戻す」で工場出荷時設定に戻してください。	P44
	「スルーモード」を「入」にすると画面が乱れる	480i や 1080i の信号が入力されているときに「スルーモード」を「入」にすると、コンテンツによってはちらつきが発生する場合があります。「スルーモード」を「切」に切り換えてご使用ください。	P13, 35, 46

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
OSD の「注意画面」が表示される	「NO SIGNAL」が表示された！※1 VIDEO INPUT DVI-D NO SIGNAL 入力切換ボタンで映像入力を切り換えできます R G B	信号ケーブルが本機またはコンピューターの信号入出力端子に正しく接続されていない可能性があります。 信号ケーブルを本機およびコンピューターの信号入出力端子に正しく接続してください。	P18～21
		信号ケーブルが断線している可能性があります。 信号ケーブルが断線していないか確認してください。	－
		コンピューターの電源が切れている可能性があります。 コンピューターの電源が入っているか確認してください。	－
		コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。 マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P47
		HDCP 対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。 数秒程度お待ちください。	－
	「OUT OF RANGE」が表示された！※2 VIDEO INPUT DVI-D OUT OF RANGE R G B	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。 本機に適切な信号が入力されているか確認してください。 コンピューター出力信号の解像度または垂直周波数（リフレッシュレート）を対応している信号に変更してください。	P46
		本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。 コンピューター出力信号の解像度を変更してください。	－

※ 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。 本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	－
		Windows® をご使用の場合は、Windows® セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。 Windows® セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P25
		Windows® セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows® 以外の OS をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。 グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	－

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
音が出ない	スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 正しく接続されているか確認してください。	P20
		ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーからは音は出ません。 ヘッドホンを外してください。	P21
		音量が最小になっている、または消音機能が「する」になっている可能性があります。 リモコンの「消音」ボタンを押すか「音声」OSD を調節するか、消音設定を「しない」に設定してください。 OSD 画面が表示されていないときは、本体の「▷」ボタンを押して音量調節 OSD 画面を直接呼び出すことができます。	P13, 36
		「音声」の「音声選択」で表示入力と違う入力が選ばれている可能性があります。 「音声」の「音声選択」を確認してください。	P37
AV 機器の映像が何も映らない	何も映らない	一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。 数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本体の電源スイッチまたはリモコンの電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。 ● 電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	P11, 13 P18～22
	「NO SIGNAL」が表示された VIDEO INPUT HDMI 1 NO SIGNAL 入力切換ボタンで映像入力を切り換えできます R G B	入力選択が合っていない可能性があります。 本体の「入力切換／戻る」ボタンまたはリモコンの「入力切換」ボタンを押して映像入力を切り換えてください。	P11, 13
リモコンで調節や設定ができない	乾電池が消耗している	リモコンの乾電池が消耗している可能性があります。 新しい乾電池と交換してください。	P14
	リモコンの赤外線が受光できない	リモコンの赤外線が届かない場所で操作している可能性があります。 画面に近づくか、より真正面に近い角度から操作してください。	P14
		リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります。 障害物を取り除いてください。	P14
		リモコン送信部または本機の受光部が汚れている可能性があります。 汚れを拭き取ってください。	－
	乾電池の極性を間違って入れている	リモコンの乾電池の ⊖ ⊕ が逆に入っている可能性があります。 乾電池の向きを確認してください。	P14

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については下記の当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
フリーダイヤル 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 ～午後 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PC リサイクル”が2003 年 10 月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003 年 10 月 1 日より受付しております。2003 年 10 月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PC リサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様の PC リサイクルシール申込

“PC リサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PC リサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ：	ご注意：
www.pc-eco.jp 画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。	法人（事業者）のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PC リサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口（携帯電話・PHS 通話可／IP 電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS 通話可／IP 電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前 9:00 ～ 12:00　午後 1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱ワイド液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT234WX-Z（BK）**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PC およびグラフィックボード（メーカー、形名）、解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

- 無料出張サービス規定
  この製品をお買い上げから 1 年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
     ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ディスプレイとスマートフォンの接続に関するご注意

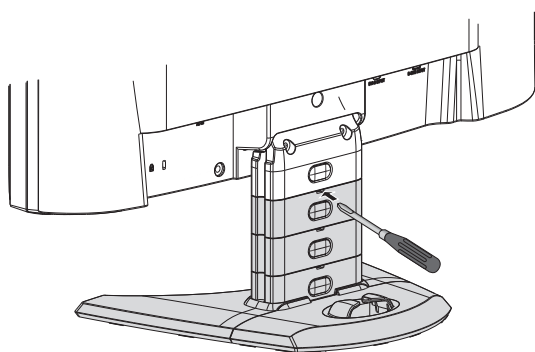
- スマートフォンには、ディスプレイ（HDMI 端子）と接続可能な映像出力端子が有るものと無いものがありますので、ご注意願います。映像出力端子付きのスマートフォンとディスプレイ（HDMI 端子）との接続には、携帯電話会社がサポートしているオプション品または市販の変換ケーブル／変換アダプター等が必要になります。詳細は、携帯電話会社または変換ケーブル／変換アダプターメーカーにご確認ください。また、すべてのスマートフォンとの接続に関して動作を保証するものではありません。

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。

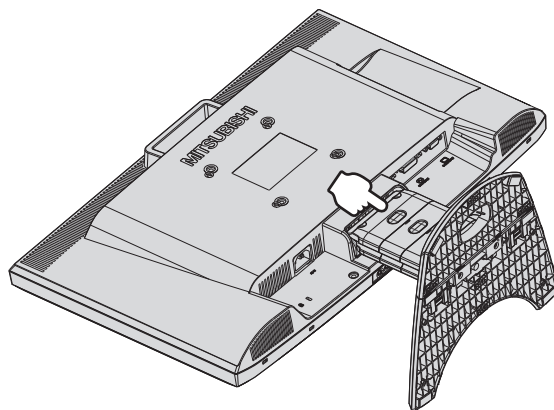
水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のようにブロックネック背面の最上部ロックボタンを指で押しながらベース部（ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたもの）を外してください。
取り外したベーススタンドとブロックネックは分離して再梱包してください。

お知らせ

- ブロックネックが容易に引き抜けない場合は、ブロックネック背面の凹穴にマイナスドライバーを差し込んで分離させてください。

⚠注意

- **表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷付けないように注意してください。**

お 願 い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないようにしてください。

市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した（100 mm ピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約 4.5 kg です。）

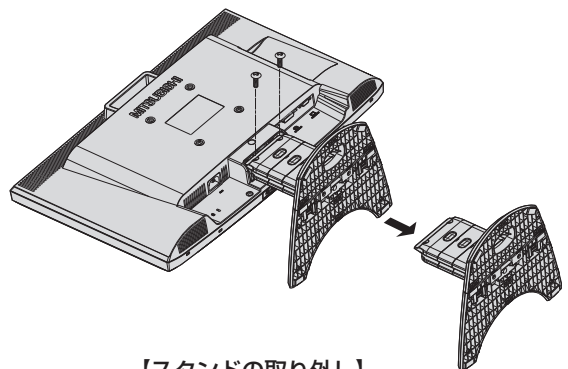
お知らせ

● 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

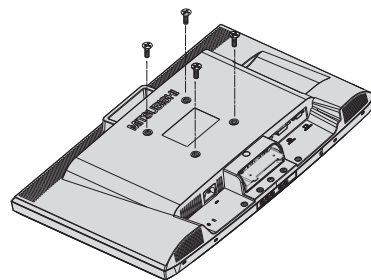
1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。
その後、本体側のスタンドネックを取り付けている 2 本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないように下向きに置いておこなってください。

【スタンドの取り外し】

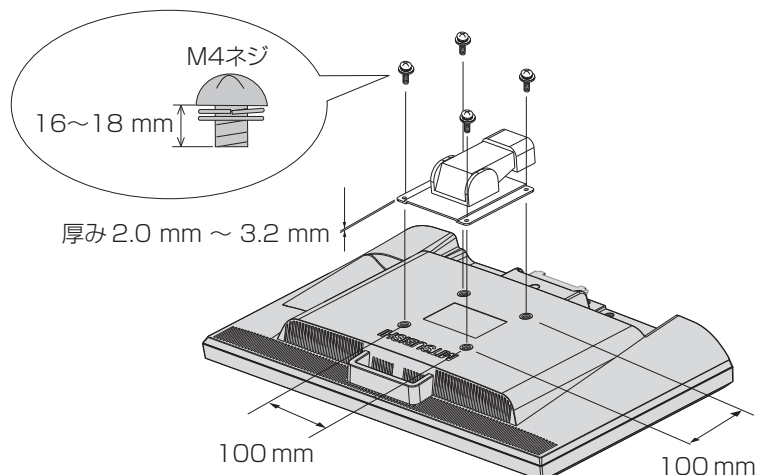
2 アームを取り付ける前に VESA 穴の 4 本の化粧用の皿ネジを取り外してください。

お 願 い

● スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンドの取り付けに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると、本機が故障する原因になる恐れがあります。
● ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

【VESA穴ネジの取り外し】

3 右記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：
　取付部厚み　2.0 mm ～ 3.2 mm
　VESA 規格準拠　100 mm ピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。
（但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137 N·cm が適切な締付トルクです。）

※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

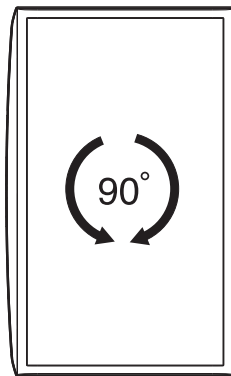
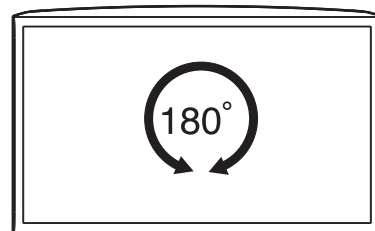
市販のアームを取り付けるとき（つづき）

⚠注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2 人以上で取り付け作業をおこなってください。
  落下してけがの原因になります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへ相談ください。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き鉄製 M4 ネジ（長さ 16 ～ 18 mm）
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90° 回転や 180° 回転した状態で使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

用語解説

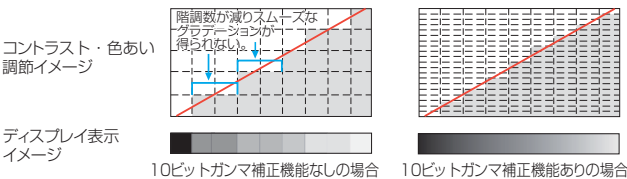
ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

3 次元 N/R（3 次元ノイズリダクション） P32
映像の細かいざらつき（モスキートノイズ）を低減します。

10 ビットガンマ機能 P3
RGB 各色 256 階調の映像信号に、10 ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。
より高精度なコントラスト・色あい補正をおこなうことができます。きめ細かくなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度におこなうことができます。

コントラスト・色あい
調節イメージ

ディスプレイ表示
イメージ

10ビットガンマ補正機能なしの場合　10ビットガンマ補正機能ありの場合

CRO (Contrast Ratio Optimizer) P32
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P47
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DDC/CI 規格 P43
(Display Data Channel Command Interface)
VESA が提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DPM (Display Power Management) P47
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dynamic Visual MODE) P13, P30
表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能です。

DVI-A 端子 (Digital Visual Interface-Analog) P18
アナログ入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-D 端子 (Digital Visual Interface-Digital) P18 ～P19
デジタル入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-I 端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P18 ～P19
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

D コントラスト (Dynamic Contrast) P32
映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれがちになります。それを防ぐために、黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

D 端子 P12, P21
DVD レコーダー／プレーヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を 1 本のケーブルで接続できます。本機では D1 から D5 までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525 本	480 本	インターレース
D2 (525p)	480p	525 本	480 本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125 本	1080 本	インターレース
D4 (750p)	720p	750 本	720 本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125 本	1080 本	プログレッシブ

GTG（Gray to Gray） P60
表示画面を変化させたときに、画面が切り換わる早さ（追従性）を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度（GTG）と表します。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) P60
デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCP に対応した AV 機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) P18 ～ P20
DVD レコーダー／プレーヤーなどと接続できる AV 用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を 1 本のケーブルで接続できます。

Plug&Play P47
Windows® で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格 P30
IEC (International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB 対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA 規格 (Video Electronics Standards Association) P56
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P34
アナログ映像信号の A/D 変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

用語解説（つづき）

インターレース P58
1 つの画面（フレーム）を 1 ラインおきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

オーバースキャン P35
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。（はみ出した部分は、画面には表示されません。）
通常のテレビは、オーバースキャンの状態で調節されています。

輝度 P60
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P60
白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像信号（YPbPr 信号） P21
映像信号を輝度信号（Y）と、色系統信号（赤系 (Pr)/ 青系 (Pb)）に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色にじみなどの画質の悪化を抑えることができます。

サイドカラー P43
アスペクト表示した場合の両端の画像のない部分の色を調節する機能です。

残像 P9, P49
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることを推奨します。

シネマモード P31
フィルム映像（24 コマ）や 30 コマのコンテンツに適した画像処理をおこない、映画を美しく映し出します。シネマモードを「なめらか」にすると、前後のコマから予測した新しい 4 コマ（30 コマ時は 3 コマ）の映像を作り出して補間し、よりなめらかで自然な動きを得ることができます。「フィルム」にすると、24 コマ／秒の映画フィルムや 30 コマ／秒の動きを忠実に再現します。

視野角 P3, P60
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート） P46, P60
水平周波数： 1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5 kHz の場合、1 秒間に走査線を 31,500 回表示するということです。
垂直周波数（リフレッシュレート）： 1 秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が、60 Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回書き換えているということです。

超解像 P13, P31, P39
独自の画像処理アルゴリズムに基づき表示映像に含まれるぼやけ成分を推定し補正を加えることにより、従来のシャープネス回路では再現できなかったフォーカス感やディテール感を再現します。

チルト角度 P23, P60
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

電源ランプ明るさ P43
電源ランプの輝度を調節する機能です。

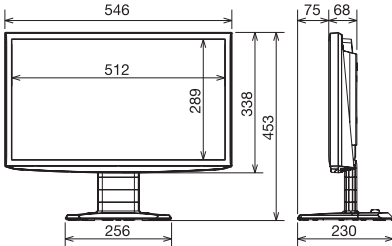
ノータッチオートアジャスト／NTAA (No Touch Auto Adjust) P47
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P47
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P46, P60
一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

プログレッシブ P58
1 つの画面（フレーム）を 1 回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれます。インターレース方式に比べ、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

ブロック N/R（ブロックノイズリダクション） P31
MPEG2 方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG 方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

仕様

形名			RDT234WX-Z (BK)
外形寸法（mm）			546 / 75 / 68 / 512 / 289 / 338 / 453 / 256 / 230
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		23 型（58.4 cm）
	液晶方式		IPS、ノングレア（反射防止）
	有効表示領域		509.2 x 286.4 mm
	表示画素数		1920 × 1080
	画素ピッチ		0.265 mm
	表示色		約 1677 万色（約 10 億 6433 万色中）
	視野角		左右 178°、上下 178°（コントラスト比 10）
	輝度（標準値）		350 cd/m^2
	コントラスト比		5000：1（CRO 非動作時 900：1）
	応答速度		5 ms (GTG)*1
	バックライト		白色 LED
PC 入力	水平周波数		31.5 ～ 82.3 kHz
	垂直周波数		56 ～ 76 Hz
	ビデオ信号		デジタル RGB、アナログ RGB
	同期信号		デジタル入力：TMDS アナログ入力：セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D（HDCP 対応 *2）、HDMI（2 系統） アナログ入力：ミニ D-SUB15 ピン
ビデオ入力 *3	解像度		480i、480p、1080i、720p、1080p（D1 ～ D5）
	信号入力コネクター （HDMIはPC入力コネクターと共用）		デジタル入力：HDMI（2 系統） アナログ入力：D 端子
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック、RCA ピンジャック（L/R）
	スピーカー		3 W ＋ 3 W（ステレオ）
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
適合法規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル（★★☆ V12）、J-Moss グリーンマーク、DDC/CI、 Windows® 8
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃
	湿度		30 ～ 80%（結露の無いこと）
電源	電源入力		AC100-240 V、50/60 Hz
	消費電力	標準	66 W
		通常時 *4	30.5 W
		省エネモード	スリープモード時：1 W 以下（AC100 V 時） オフモード時　　：1 W 以下（AC100 V 時）
	電源入力コネクター		3P　IEC タイプ
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 5.0 kg
		スタンドなし	約 4.5 kg
キャビネット色			ブラック
梱包状態（質量／寸法）			約 7.0 kg ／ 606(W) × 407(H) × 143(D) mm
チルト角度／スイーベル角度／高さ調節／縦型表示			上 20°、下 5°／機能なし／ブロックネック× 3（30 mm ／段）／機能なし

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機は、解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内 100 V 商用電源対応品です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

*1 特定階調レベル間（例：31, 63, 95, 127, 159, 191, 223）の各応答速度の平均値です。
*2 Macintosh での HDCP 対応は非サポートです。
*3 安定した表示ができない場合や非表示領域に不要な線が見える場合があります。
*4 画面寸法比 80%、輝度 120 cd/m^2 の白ウィンドウ画面時の消費電力、音量設定：最小、外部機器非接続時（当社測定結果による）。

さくいん

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん